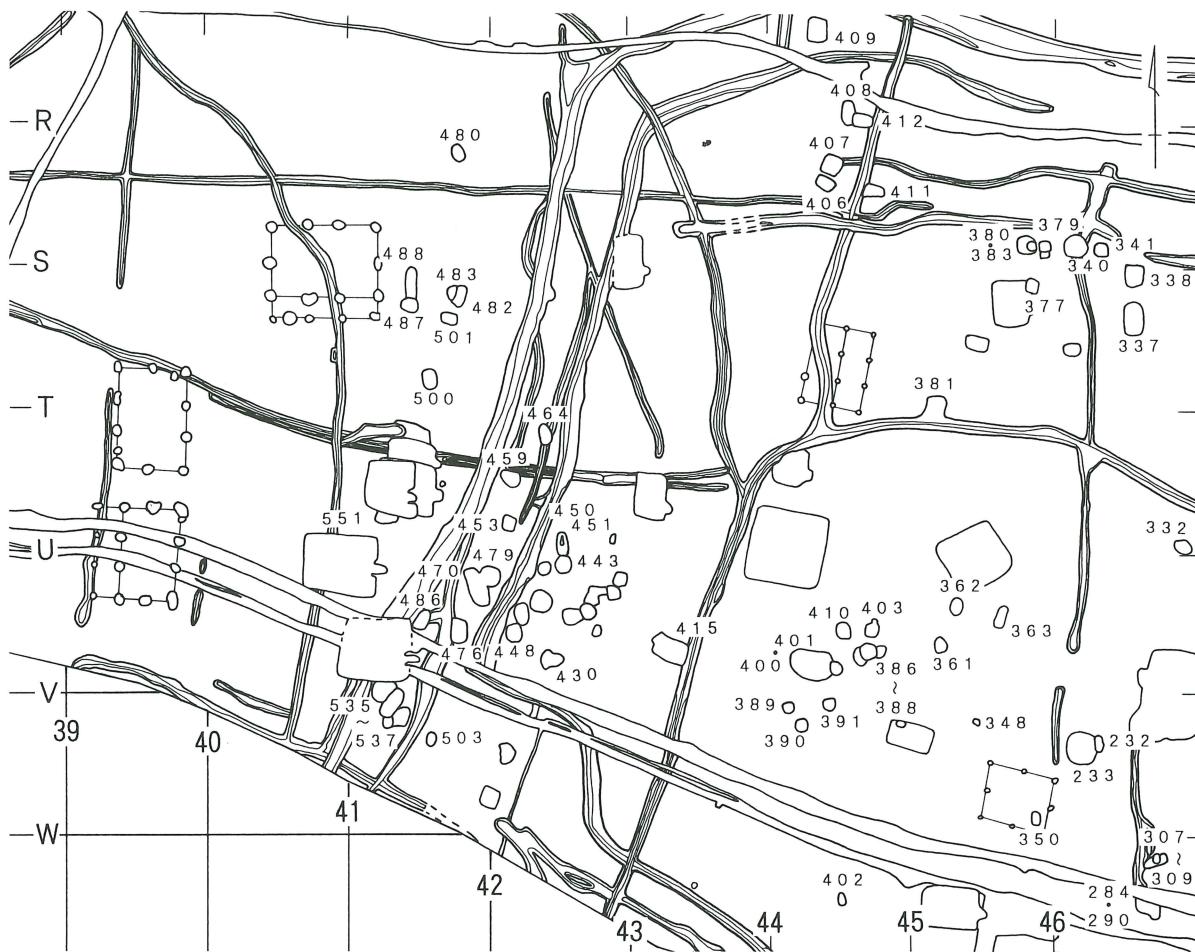


第144図 地神遺跡中世土壙配置図(2)



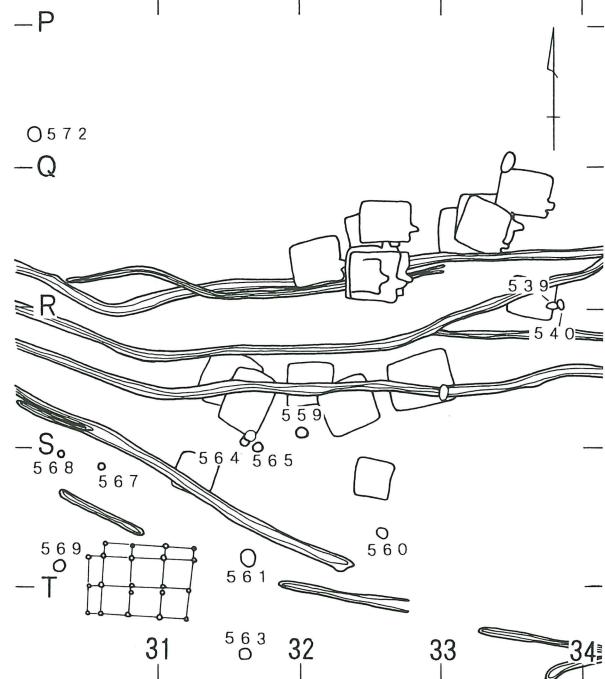
### 地神遺跡第379号土壙 (第149図)

R-45グリッドに位置する。平面形態は長方形だが、南側に段を持つ。長さ1.19m、幅0.91m、深さ0.42mである。土器類は出土しなかったが、中央よりやや東寄りの底面から長方形の自然石が検出された。

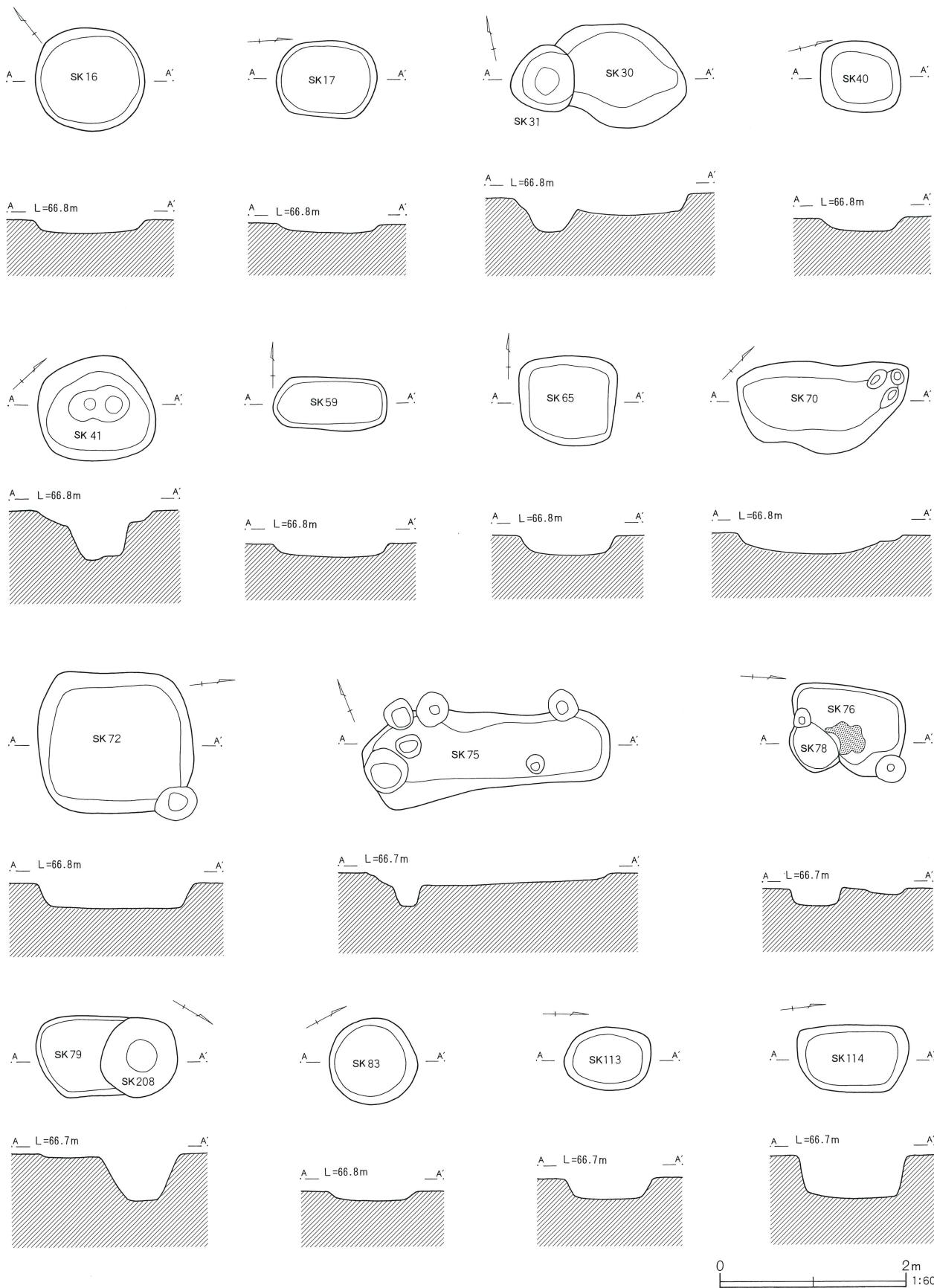
### 地神遺跡第535号土壙 (第153図)

V-41グリッドに位置する。第530・536・537号土壙と重複し、何れの土壙より新しい。平面形態は南北に長い長方形で、長さ2.19m、幅0.89m、深さ0.36mである。底面に厚さ20~35cm、大小の河原石が敷き詰められていた。遺物は、かわらけが1点出土した。

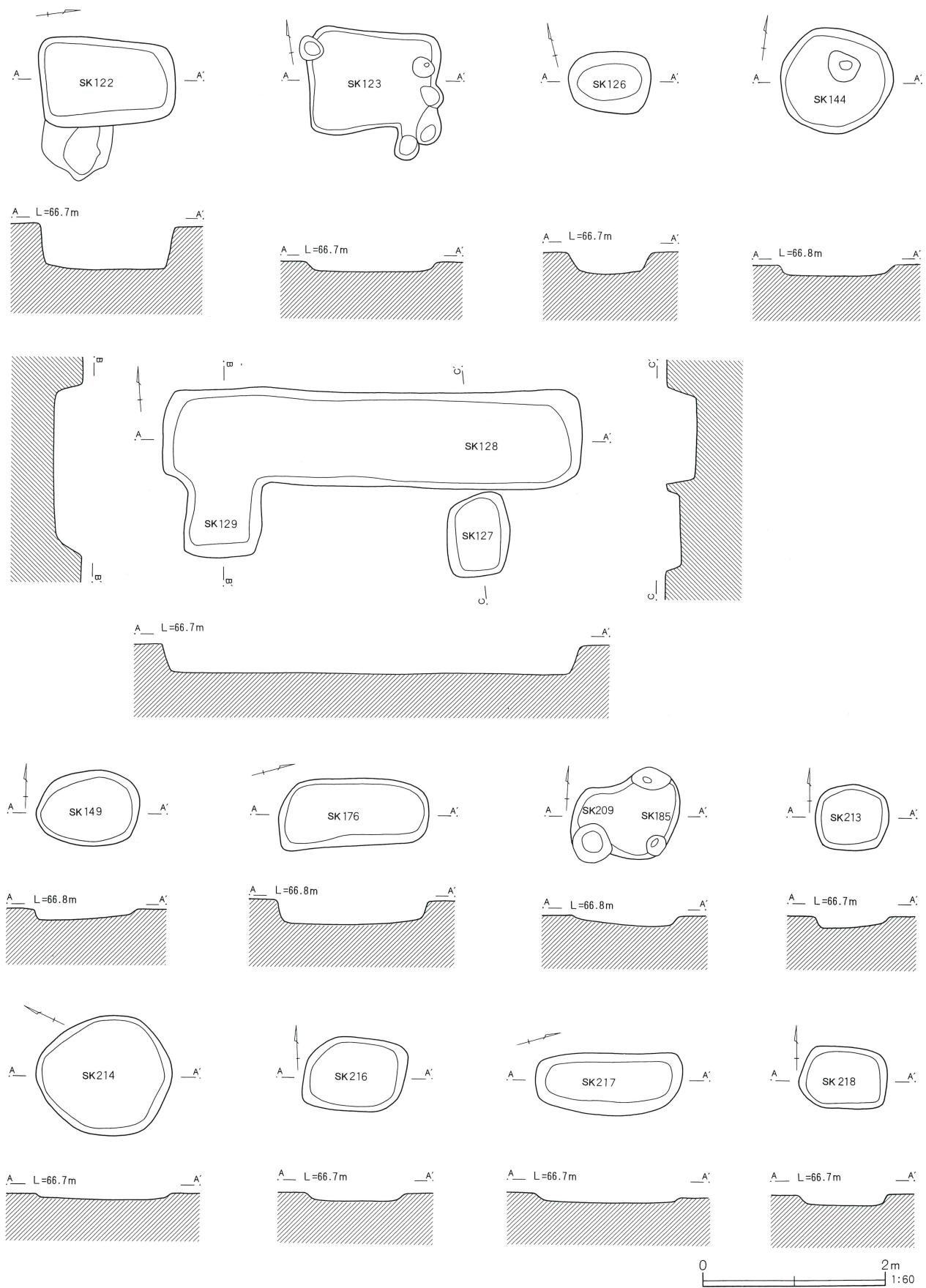
第145図 地神遺跡中世土壤配置図(3)



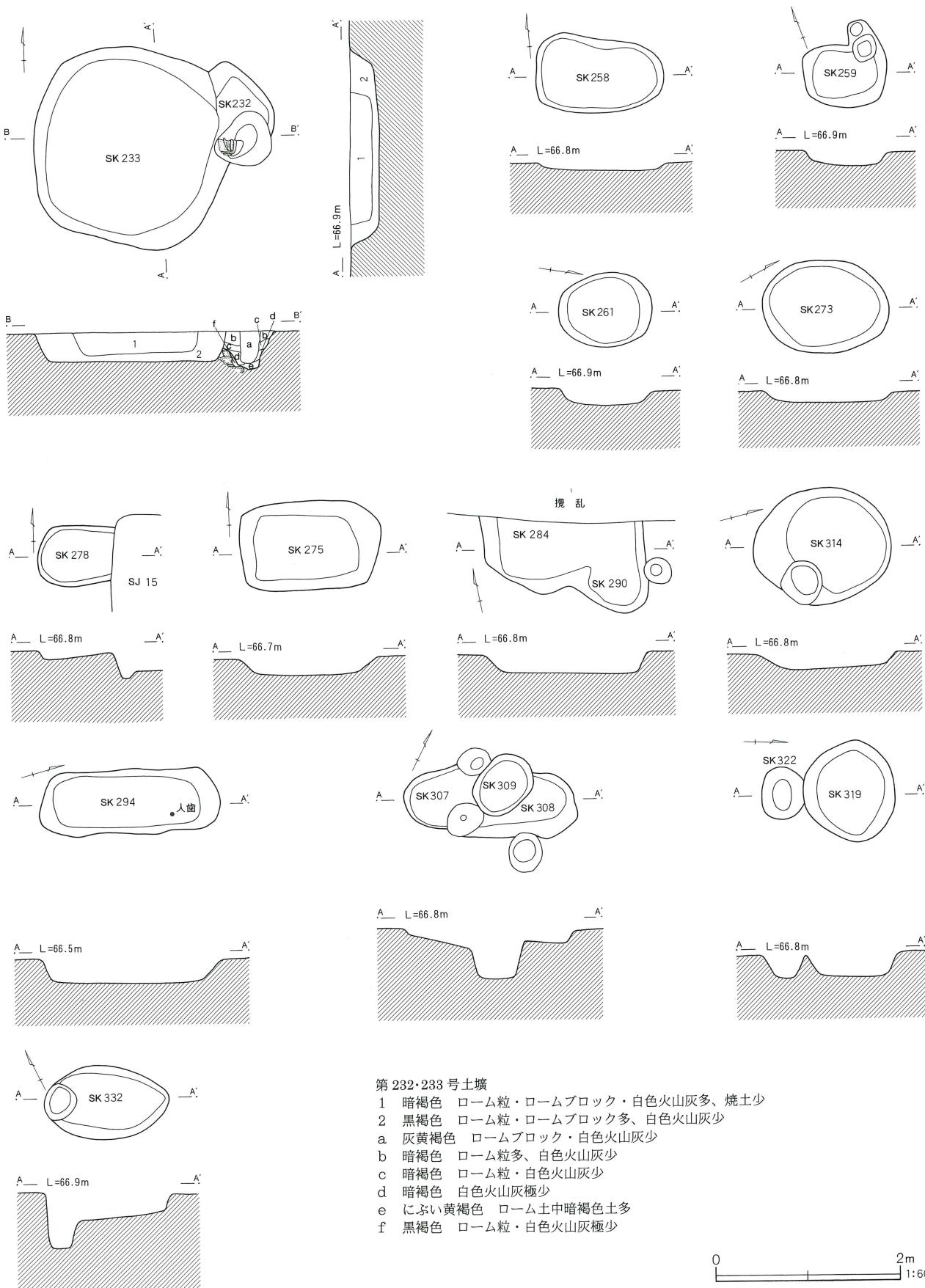
第146図 地神遺跡中世土壤(1)



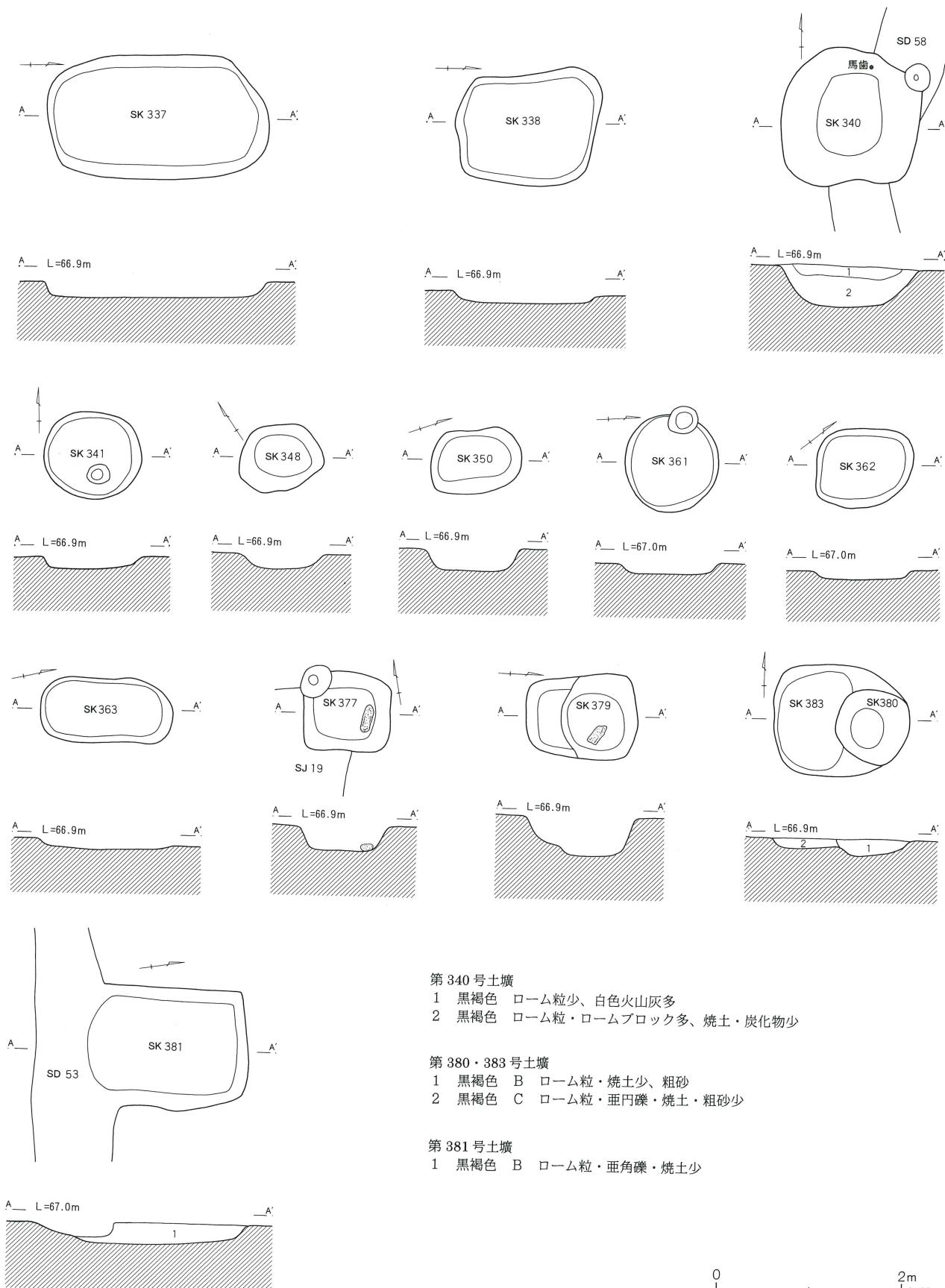
第147図 地神遺跡中世土壤 (2)



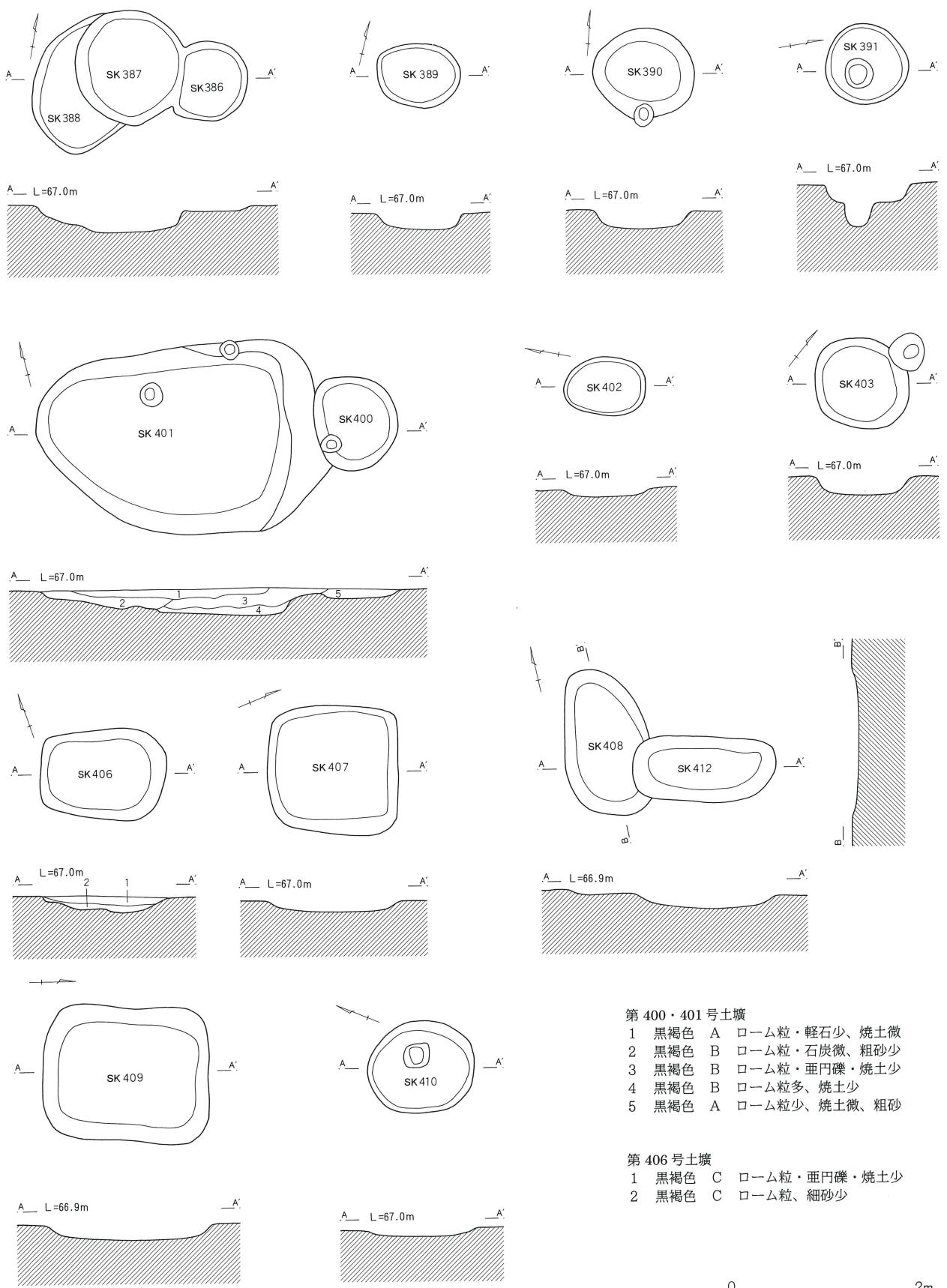
第148図 地神遺跡中世土壤(3)



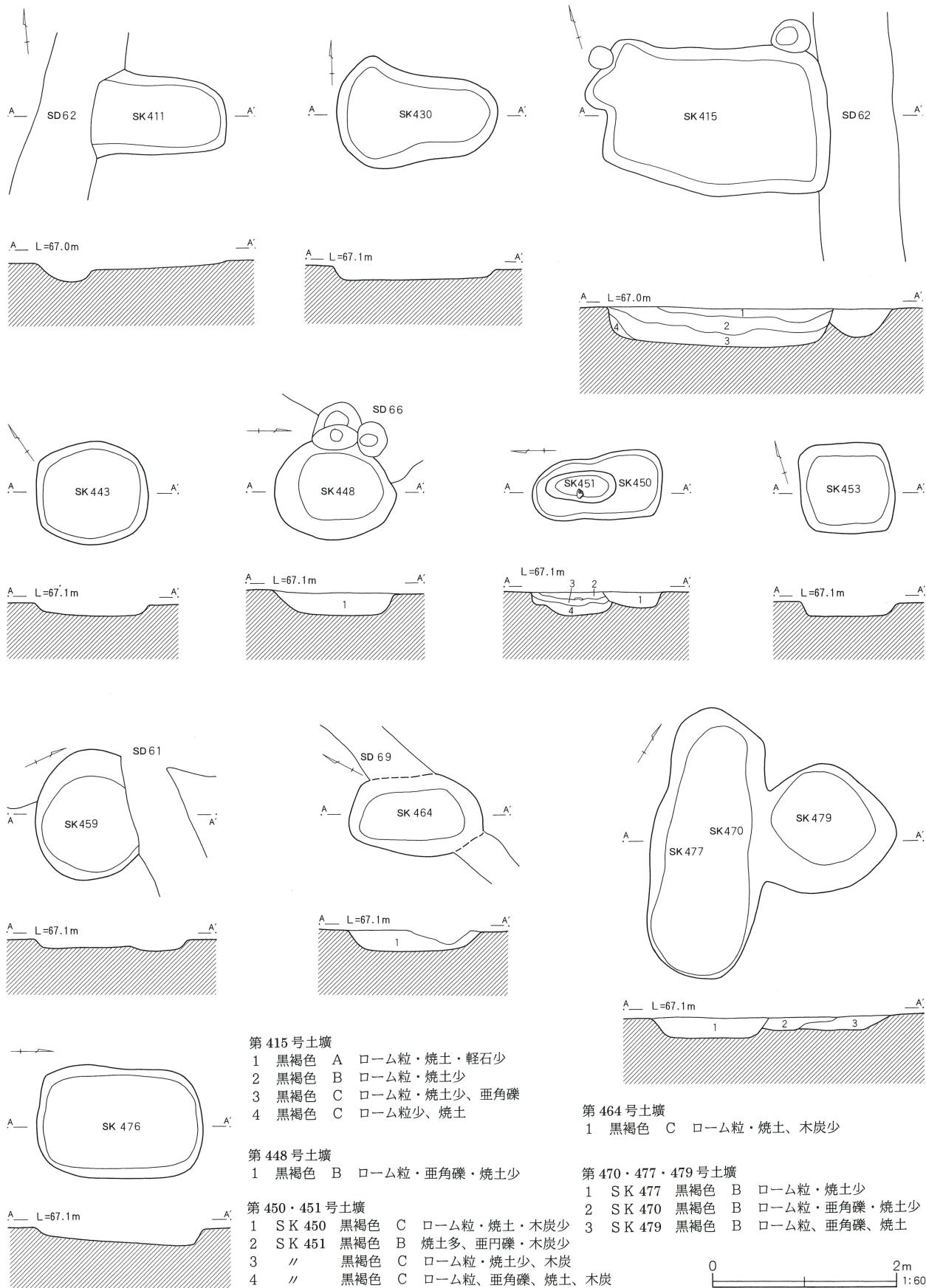
第149図 地神遺跡中世土壙(4)



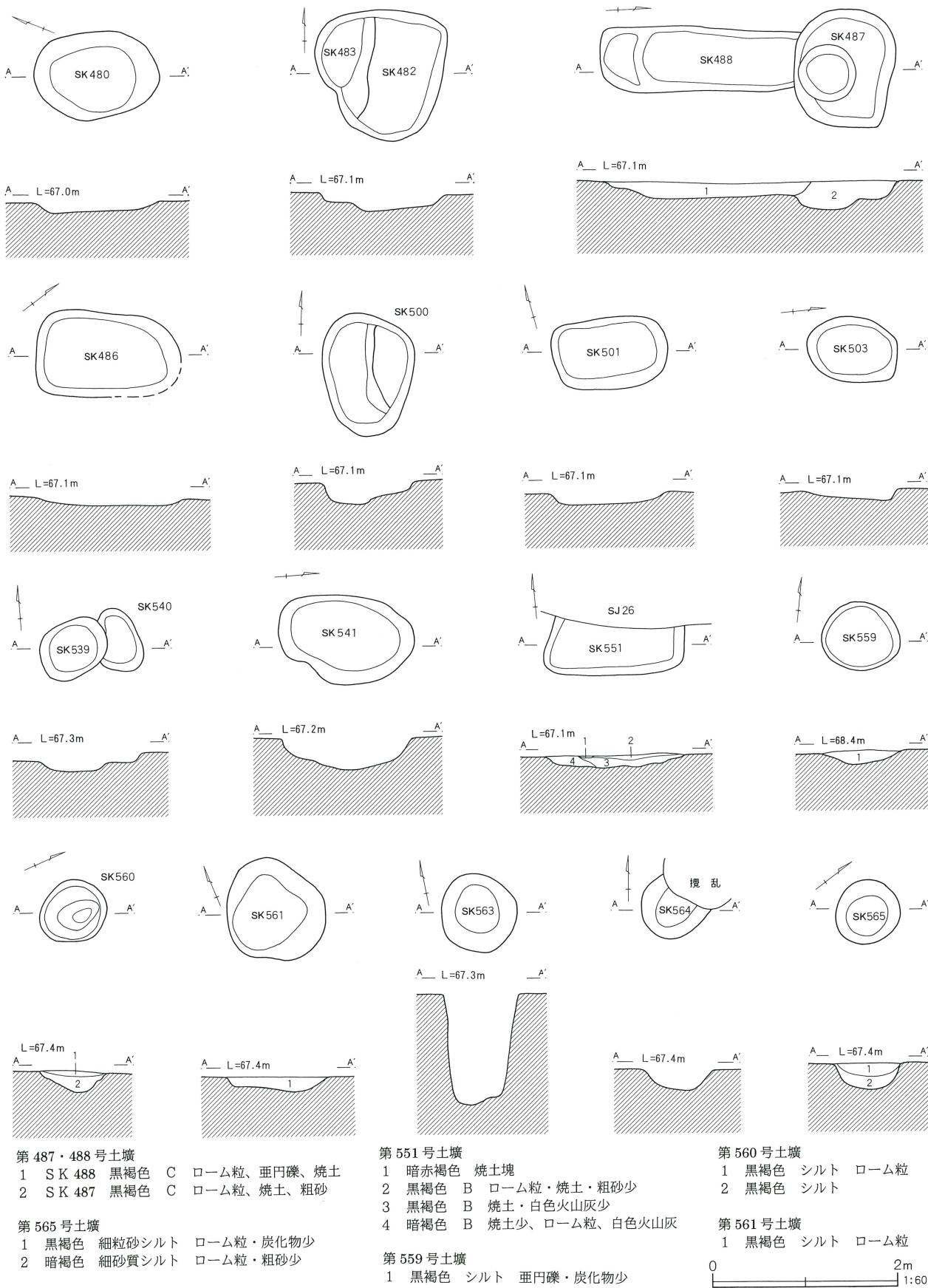
第150図 地神遺跡中世土壤(5)



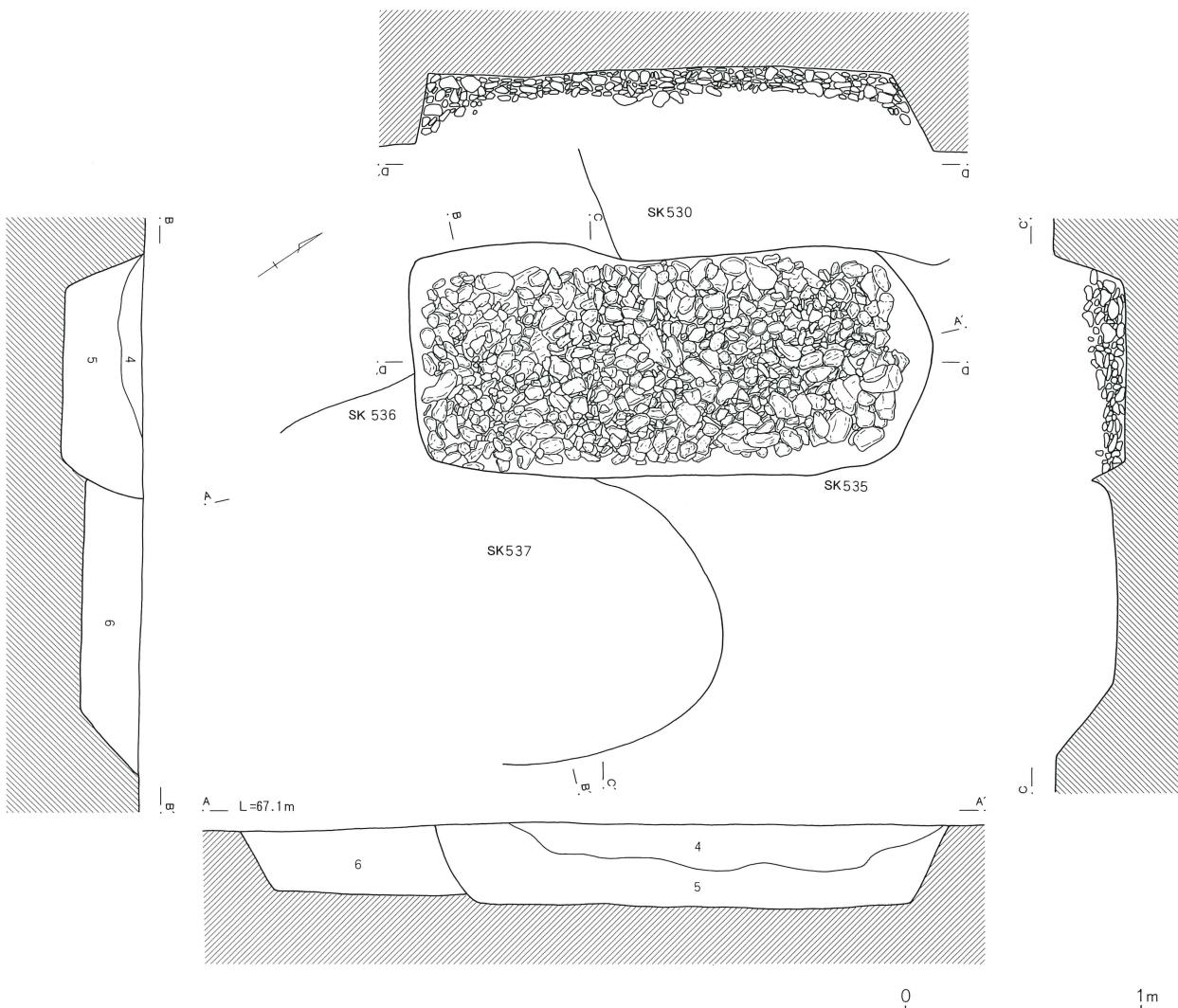
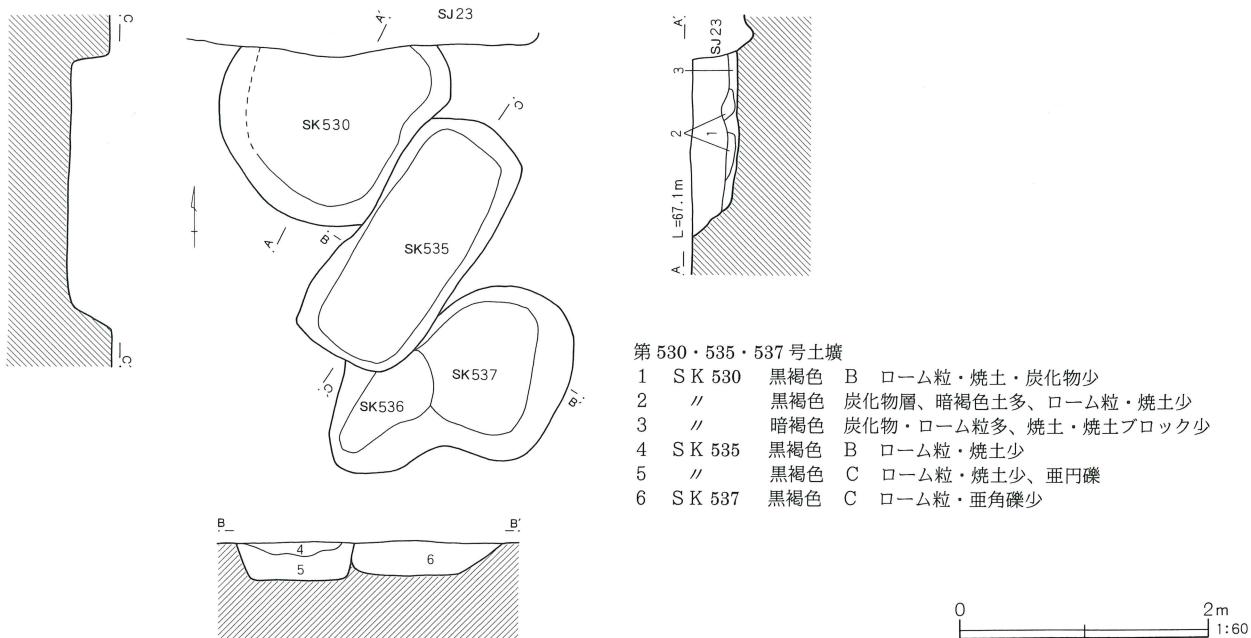
第151図 地神遺跡中世土壤(6)



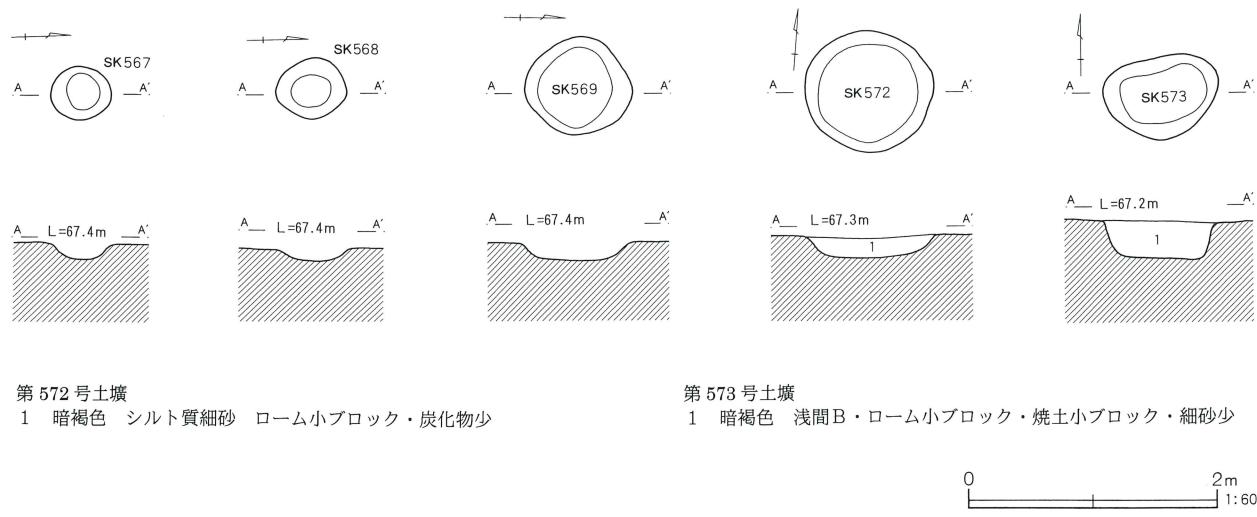
第152図 地神遺跡中世土壤(7)



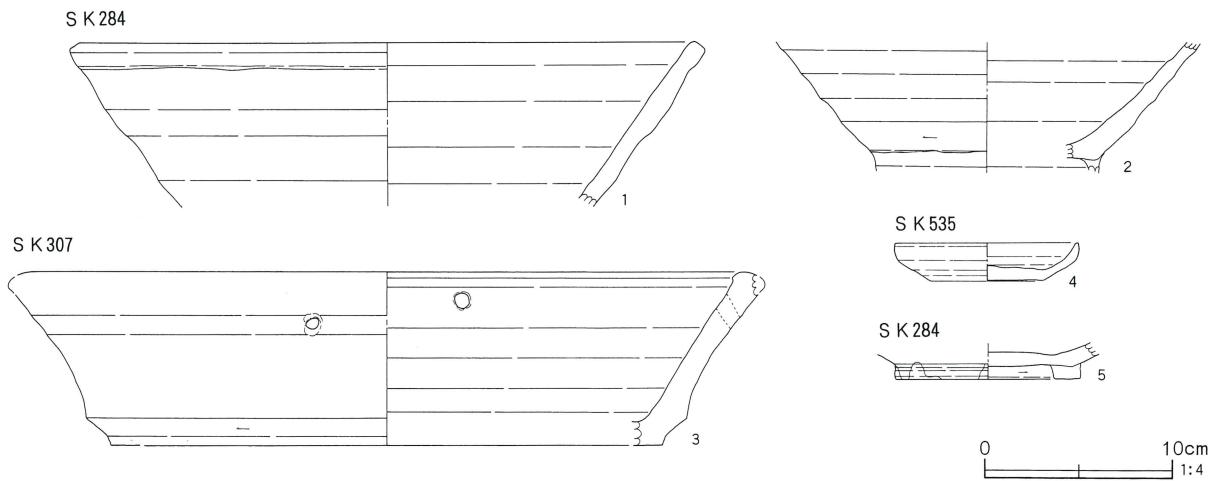
第153図 地神遺跡中世土壤(8)



第154図 地神遺跡中世土壙(9)



第155図 地神遺跡中世土壙出土遺物



地神遺跡中世土壙出土遺物観察表

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	常滑片口鉢	(33.8)	8.6		AG	A	褐灰		SK284	13世紀前半 内面自然釉付着 擦り減る
2	山茶碗系片口鉢		6.9		AF	A	灰黄	5	SK284	13世紀後半 内面擦り減る
3	瓦質盤	(38.6)	9.2	(29.4)	AB'CG	B	褐灰	5	SK307	13~14世紀 穿孔
4	かわらけ	(9.1)	2.0	(6.0)	ABG	C	にぶい褐	40	SK535	
5	灰釉鉢		1.9	(9.8)	AB	A	にぶい橙	5	SK284	近世 内面にトチン跡

### 塔頭遺跡第4号土壙（第159図）

U-22グリッドに位置する。平面形態は南北に長い長方形で、長さ1.17m、幅0.77m、深さ0.58mである。埋葬された人骨の一部が残存していた。遺物は、古銭3枚が紐状のもので縛られ、付着した状態で出土した。紐を残すため古銭を剥離しなかったので、銭貨名は確認していない。

### 塔頭遺跡第5号土壤 (第159図)

U-21グリッドに位置する。平面形態は南北に長い長方形で、長さ1.28m、幅0.97m、深さ0.13mである。埋葬された人骨の一部が残存していた。遺物は、元祐通宝・洪武通宝・開元通宝が各1枚と永楽通宝が2枚、計5枚の古銭が出土した。

### 塔頭遺跡第6号土壙 (第159図)

U-21グリッドに位置する。平面形態は南北に長い楕円形で、長径1.03m、短径0.82m、深さ0.10mである。埋葬された人骨の一部が残存していた。遺物は、至大通宝と錢貨名が読みとれないものが各1枚、洪武通宝・熙寧元宝が各2枚、計6枚の古錢と、棒状の鉄製品が出土した。

### 塔頭遺跡第7号土壙（第159図）

U-21グリッドに位置する。平面形態は南北に長い長方形で、長さ1.11m、幅0.76m、深さ0.16mである。埋葬された人骨の一部が残存していた。遺物は、天聖元宝・開元通宝各1枚、皇宋通宝・元豐通宝各2枚、計6枚の古銭、磨石と思われる石が出土した。

### 塔頭遺跡第8号土壙（第159図）

U-21グリッドに位置する。平面形態は南北に長

第156図 塔頭遺跡中世土壙配置図(1)



い楕円形で、立ち上がりに段を持つ。長径1.11m、短径0.79m、深さ0.47mである。埋葬された人骨の一部が残存しており、頭部を北方にし、顔を西に向かっている様子が窺えた。遺物は、洪武通宝・熙寧元宝と錢貨名不明が各1枚の計3枚の古銭が出土した。

#### 塔頭遺跡第10号土壙（第159図）

T-20グリッドに位置する。平面形態は東西に長い長方形で、長さ2.34m、幅0.97m、深さ0.52mである。南東側へ浅く半円形に飛び出しが、本遺構とは別の掘り込みと考える。覆土には焼土粒子、炭化粒子が含まれていた。遺物は、朝鮮通宝が1枚出土した。

#### 塔頭遺跡第11号土壙（第159図）

V-21グリッドに位置する。平面形態は南北にやや長い楕円形で、長径1.22m、短径1.02m、深さ0.17mである。埋葬された人骨の一部が残存し、頭部を北にし、顔を西に向かっていた。遺物は、かわらけ、

棒状の鉄製品と、永樂通宝・洪武通宝と錢貨名不明が各1枚、開元通宝が2枚、計5枚の古銭が出土した。棒状鉄製品は頭部近くから出土した。

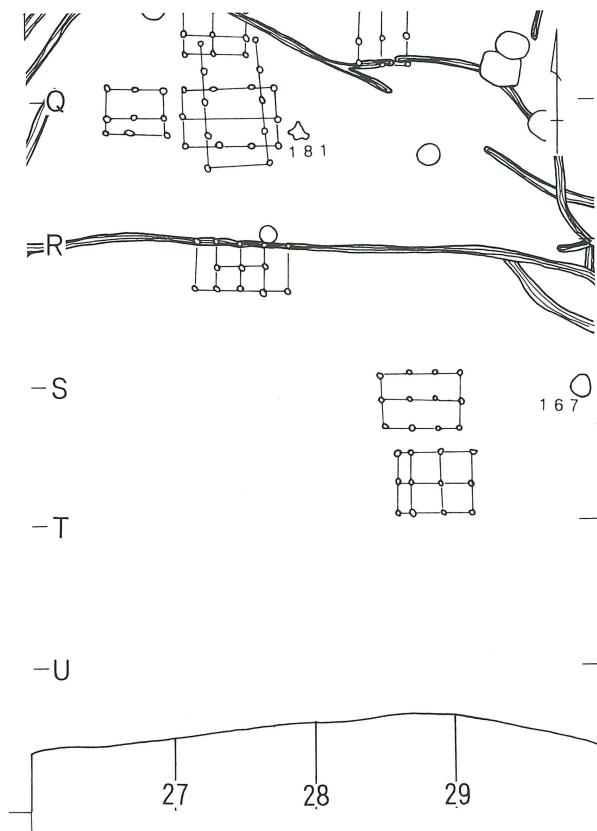
#### 塔頭遺跡第44号土壙（第161図）

T-19グリッドに位置する。第43号土壙と重複するが、新旧は明らかでない。平面形態は南北に長い長方形と思われる。長さは1.60m前後か。幅1.39m、深さ0.27mである。遺物は、景德元宝が1枚出土した。

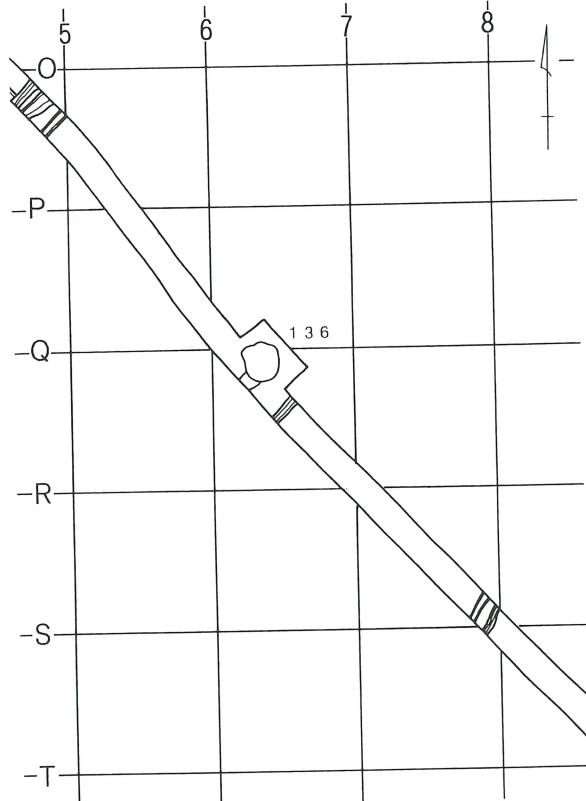
#### 塔頭遺跡第77号土壙（第162図）

U-20グリッドに位置する。第4号溝跡と重複するが、新旧は明らかでない。平面形態は南北に長い楕円形で、長径1.15m、短径0.81m、深さ0.14mである。埋葬された人骨の一部が残存していた。遺物は、青磁皿と、紹聖元宝・熙寧元宝・聖宋元宝・皇宋通宝が各1枚、計4枚の古銭が出土した。

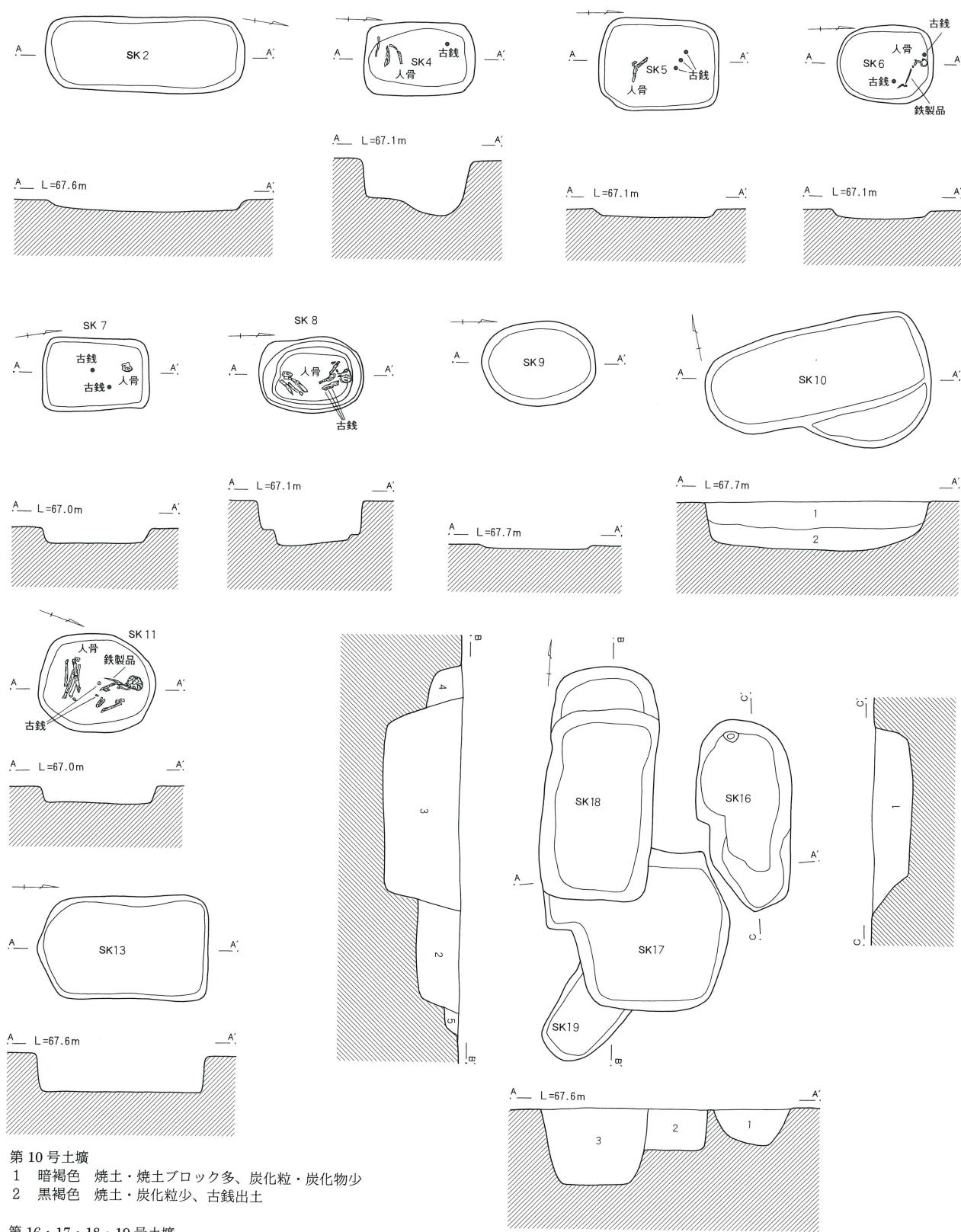
第157図 塔頭遺跡中世土壙配置図(2)



第158図 塔頭遺跡中世土壙配置図(3)



第159図 塔頭遺跡中世土壙(1)



第 10 号土壙

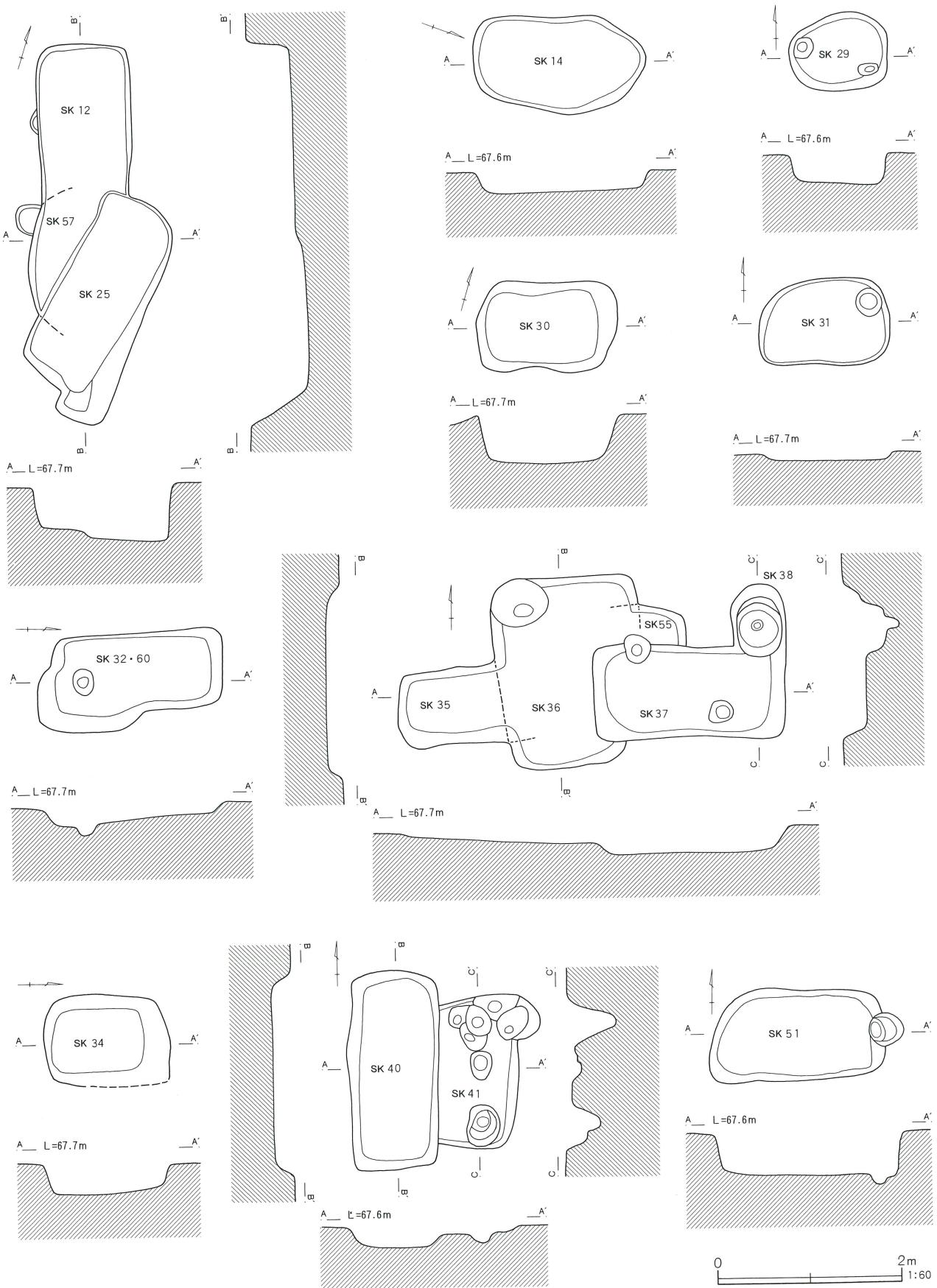
- 1 暗褐色 焼土・焼土ブロック多、炭化粒・炭化物少
- 2 黒褐色 焼土・炭化粒少、古銭出土

第 16・17・18・19 号土壙

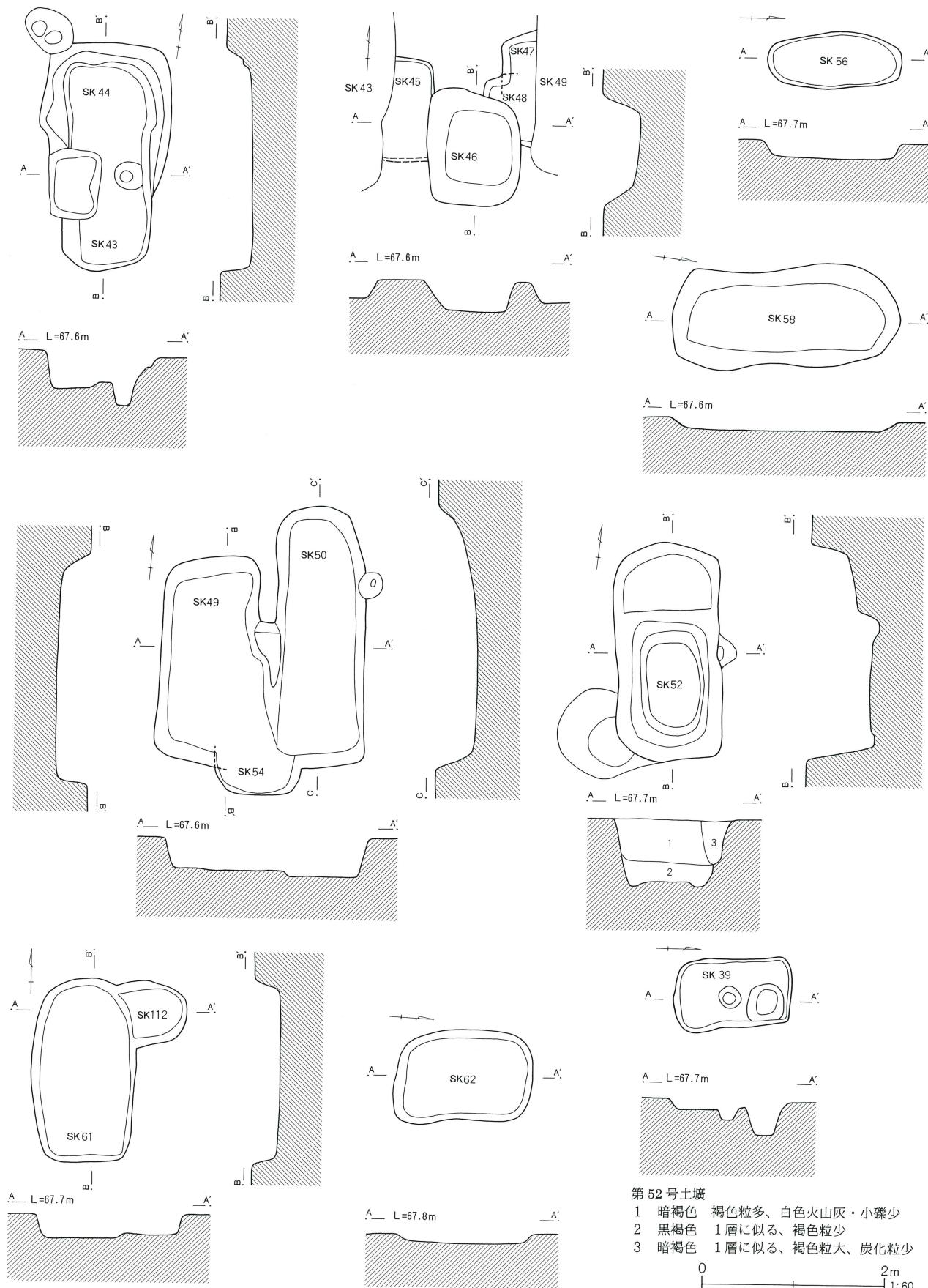
- 1 SK 16 黒褐色 黒褐色ブロック・褐色粒多、炭化粒・白色火山灰少
- 2 SK 17 黒褐色 褐色粒・炭化粒・白色火山灰少
- 3 SK 18 暗褐色 褐色粒多・褐色ブロック・炭化粒・白色火山灰少
- 4 SK 18 暗褐色 3層に似る、焼土微
- 5 SK 19 黒褐色 褐色粒・褐色ブロック・白色火山灰多

0 2m 1:60

第160図 塔頭遺跡中世土壤(2)



第161図 塔頭遺跡中世土壤 (3)

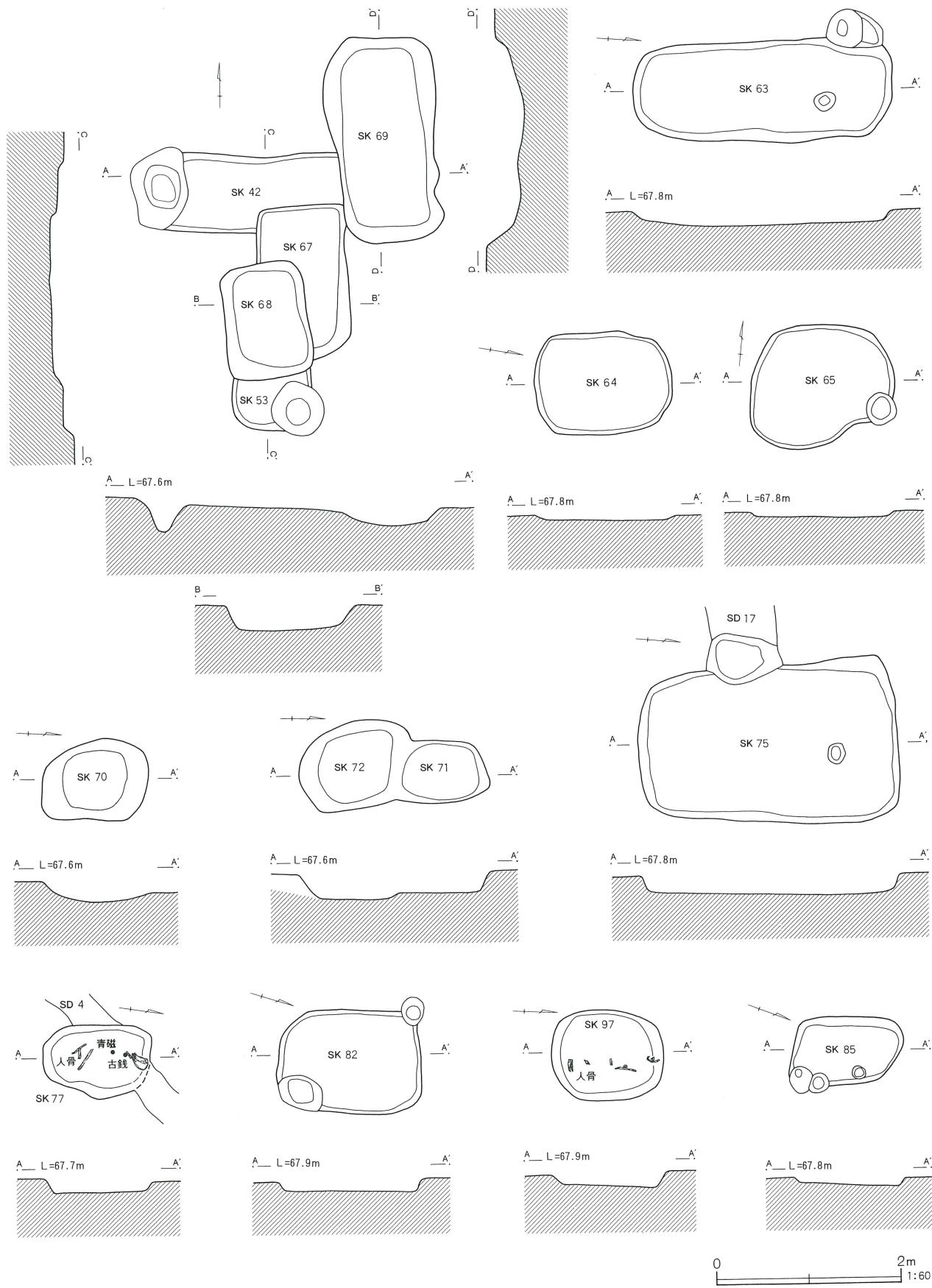


第 52 号土壤

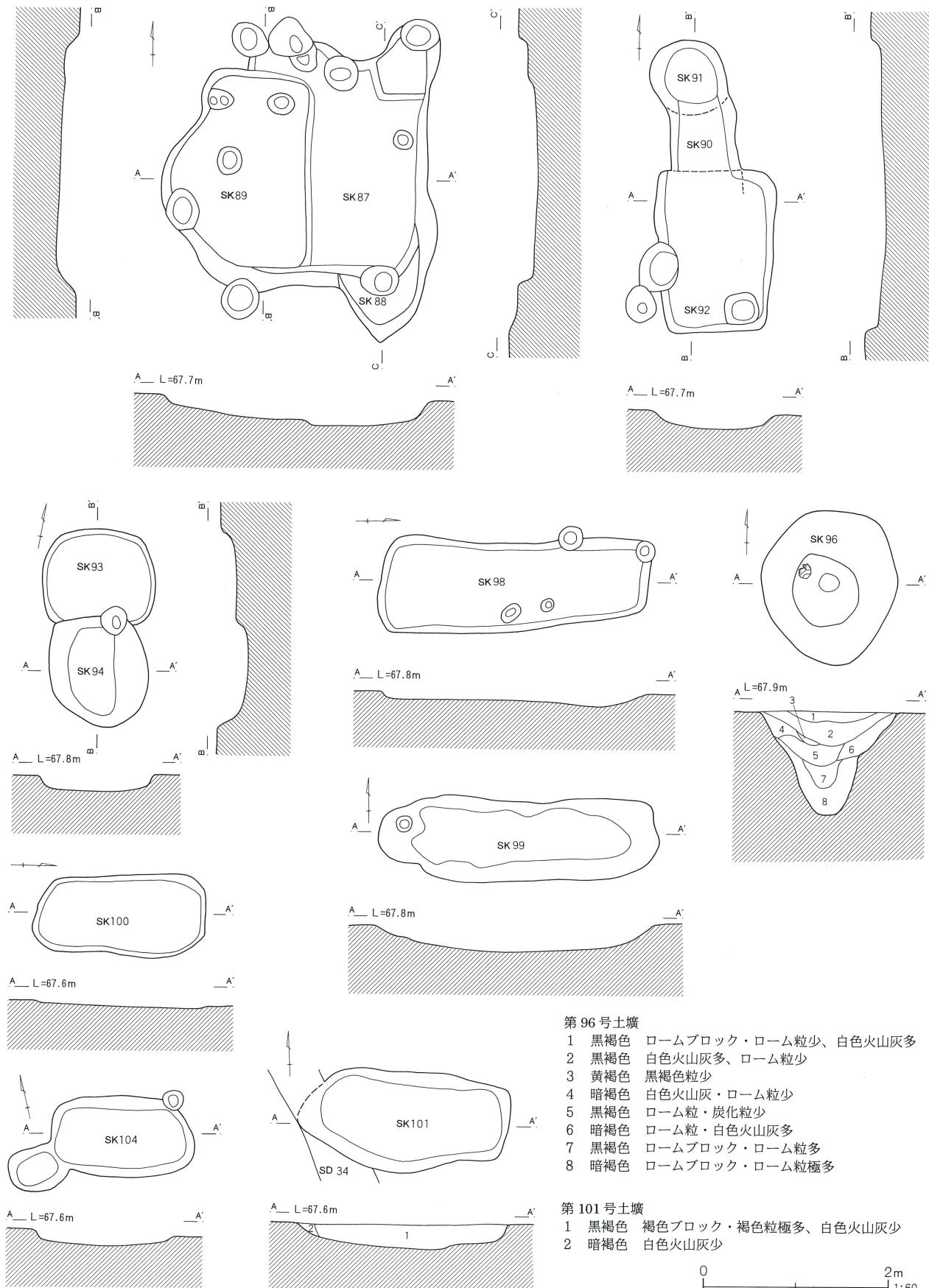
- 1 暗褐色 褐色粒多、白色火山灰・小礫少
- 2 黒褐色 1層に似る、褐色粒少
- 3 暗褐色 1層に似る、褐色粒大、炭化粒少

0 2m 1:60

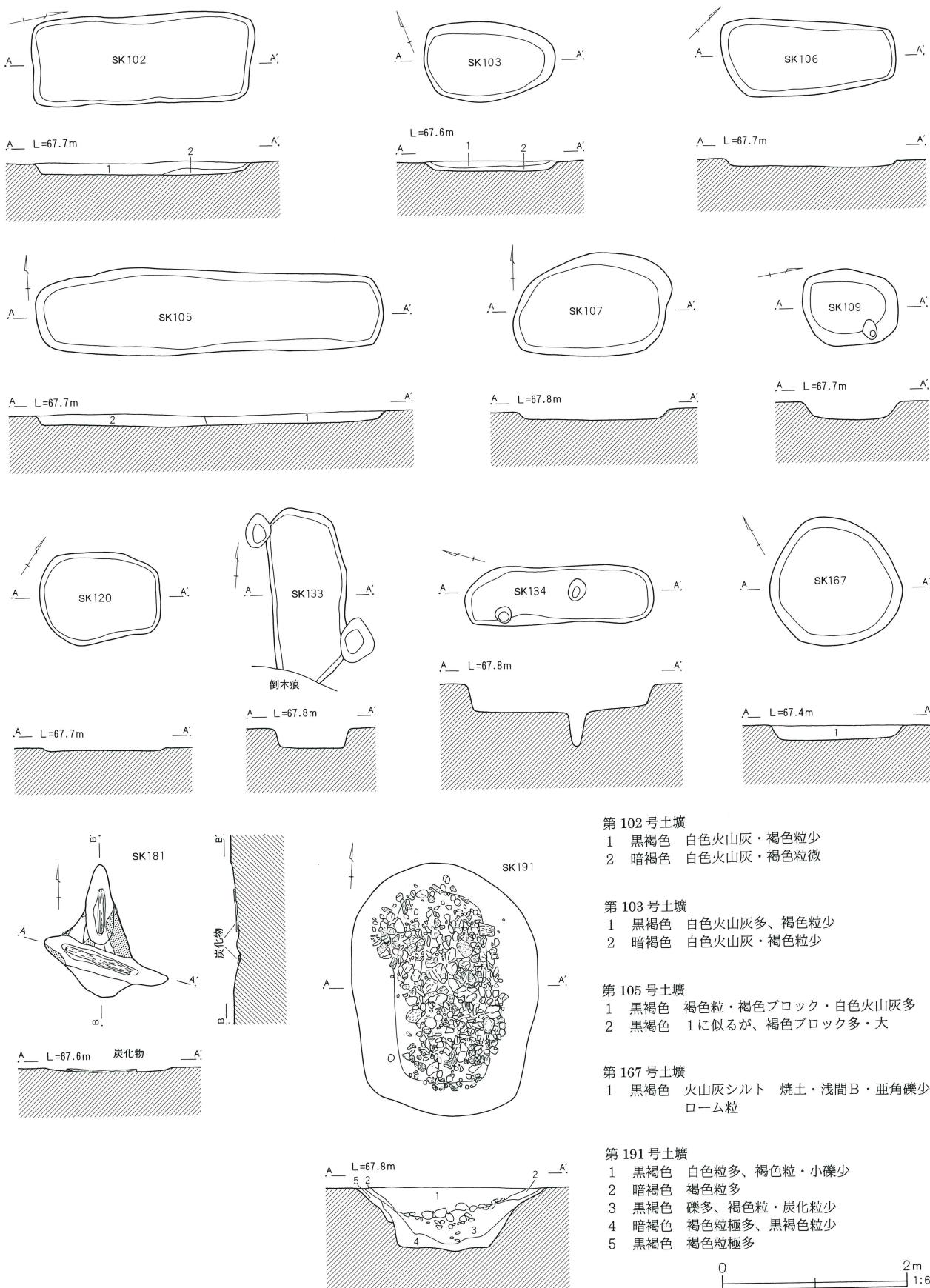
第162図 塔頭遺跡中世土壙(4)



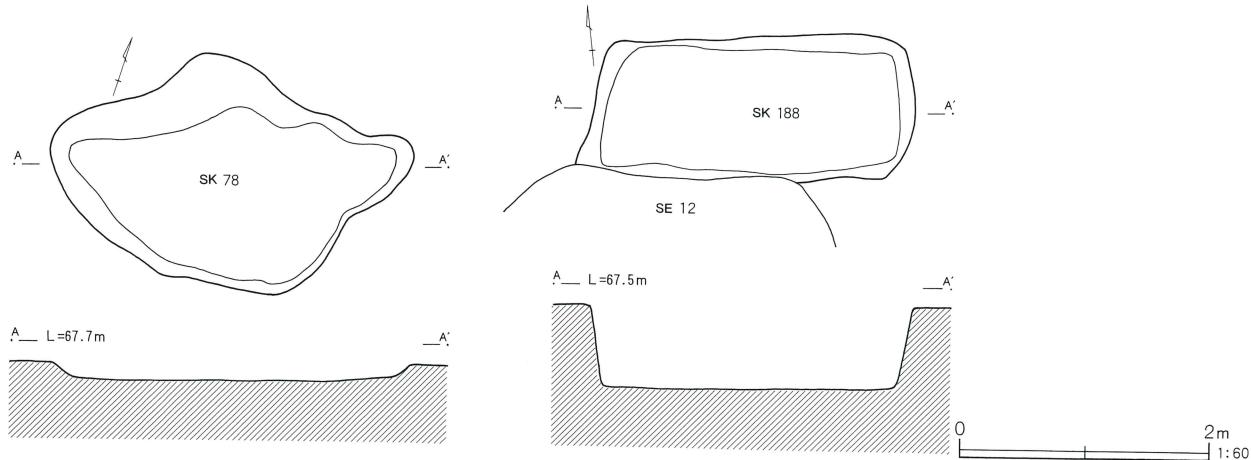
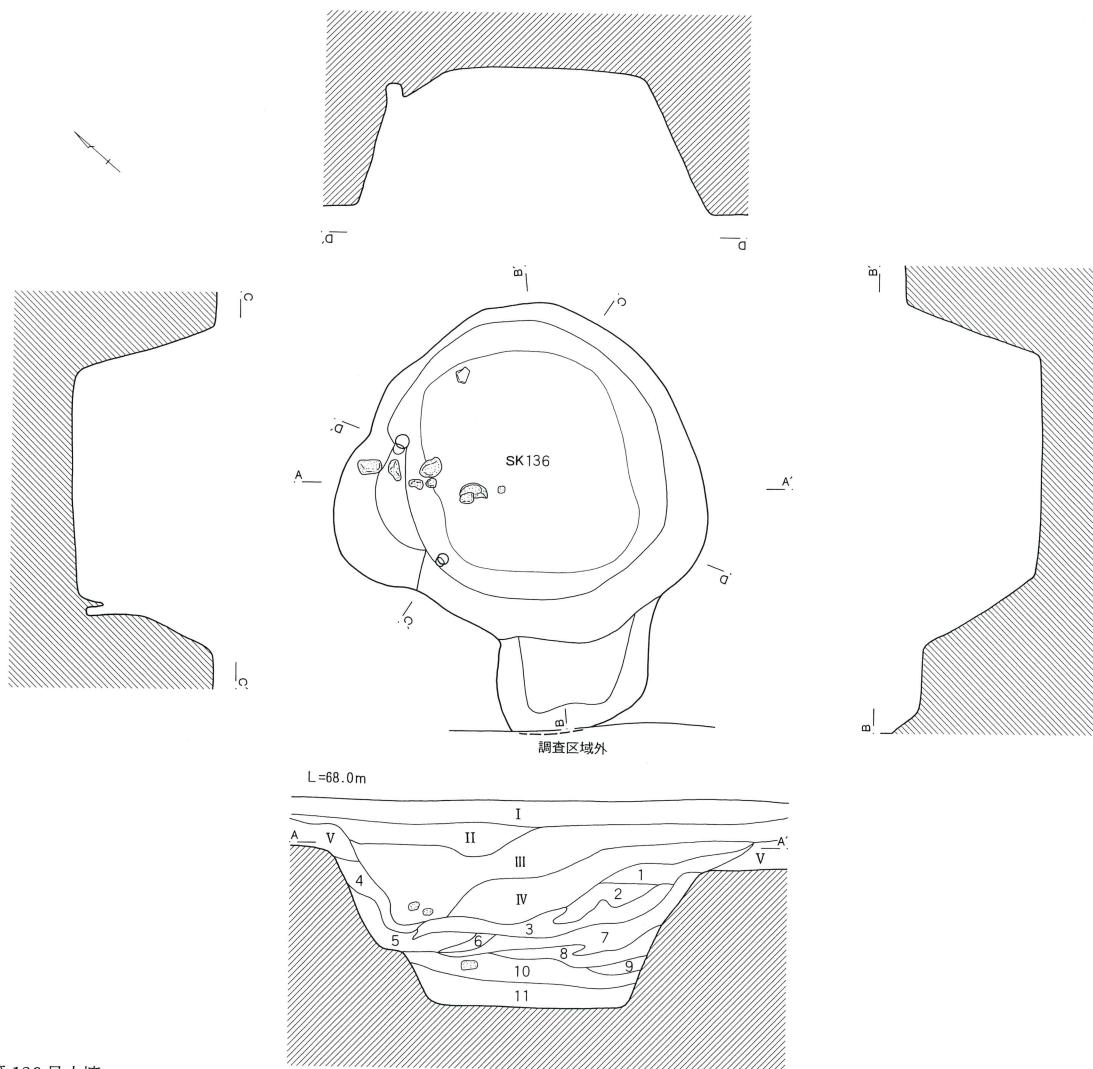
第163図 塔頭遺跡中世土壤(5)



第164図 塔頭遺跡中世土壤(6)



第165図 塔頭遺跡中世土壙(7)



### 塔頭遺跡第97号土壙（第162図）

V-18グリッドに位置する。平面形態は南北にやや長い楕円形で、長径1.22m、短径0.98m、深さ0.17mである。埋葬された人骨の一部が残存していた。遺物は、洪武通宝が1枚出土した。

### 塔頭遺跡第136号土壙（第165図）

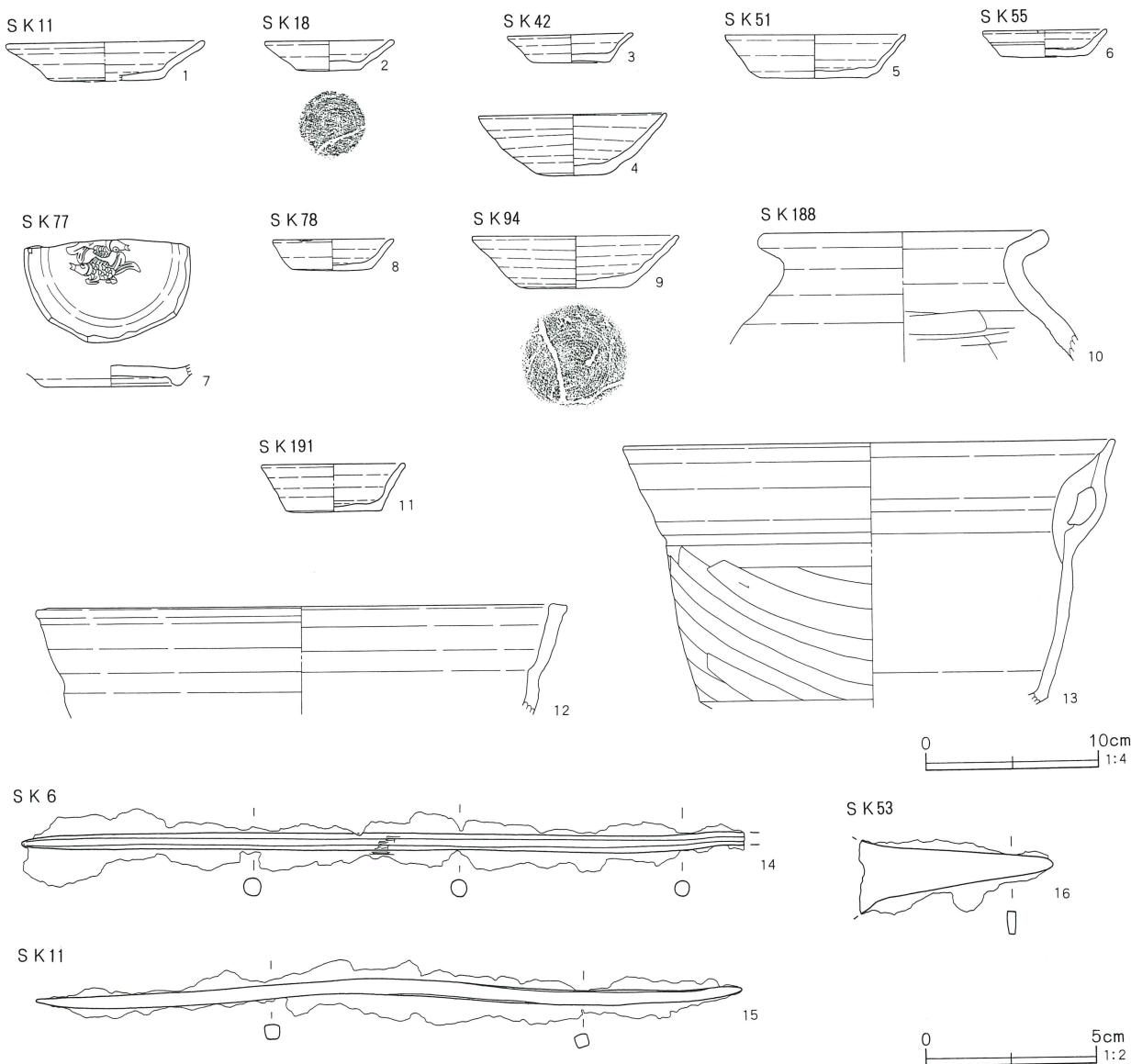
周回道路部分のQ-6グリッドに位置する。平面形態は円形に近いが、底面は隅丸方形となっている。西側に階段状のテラスを持ち、その両側に小ピットが検

出された。規模は東西2.92m、南北2.67m、深さ1.10mである。遺物は、石臼、茶臼、すり鉢、こね鉢、鍋等が出土した。地下式壙の可能性も考えられる。

### 塔頭遺跡第181号土壙（第164図）

Q-27グリッドに位置する。長楕円を2つ直行させたような形で、他の土壙とは平面形態を異にする。東西1.42m、南北1.38m、深さは0.09mである。底面に炭化材が検出され、火を受けた痕跡のある人骨が出土した。遺物は、かわらけの小片が出土した。

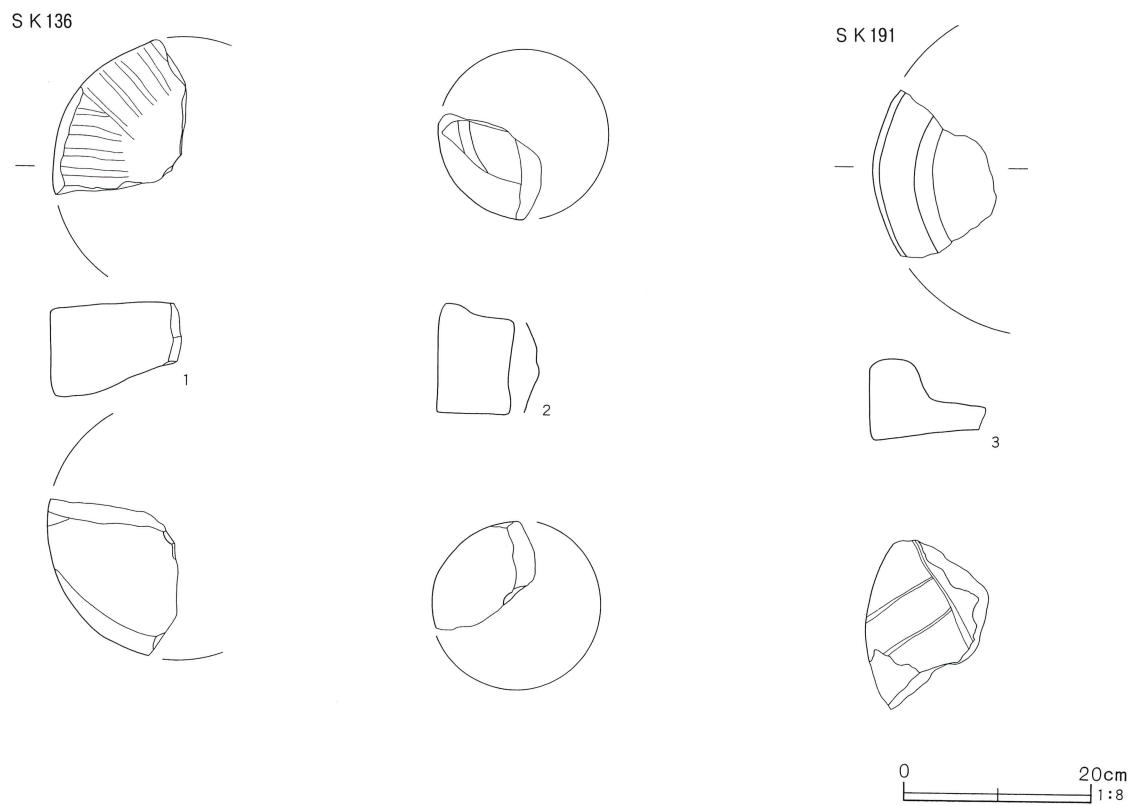
第166図 塔頭遺跡中世土壙出土遺物



### 塔頭遺跡第191号土壙（第164図）

U-19グリッドに位置する。平面形態は南北に長い長方形だが、北半は丸みを持っている。長さ2.68m、幅1.99m、深さ0.68mである。覆土中層に河原石が大量に検出された。遺物は、かわらけ、内耳鍋、石臼等が出土した。

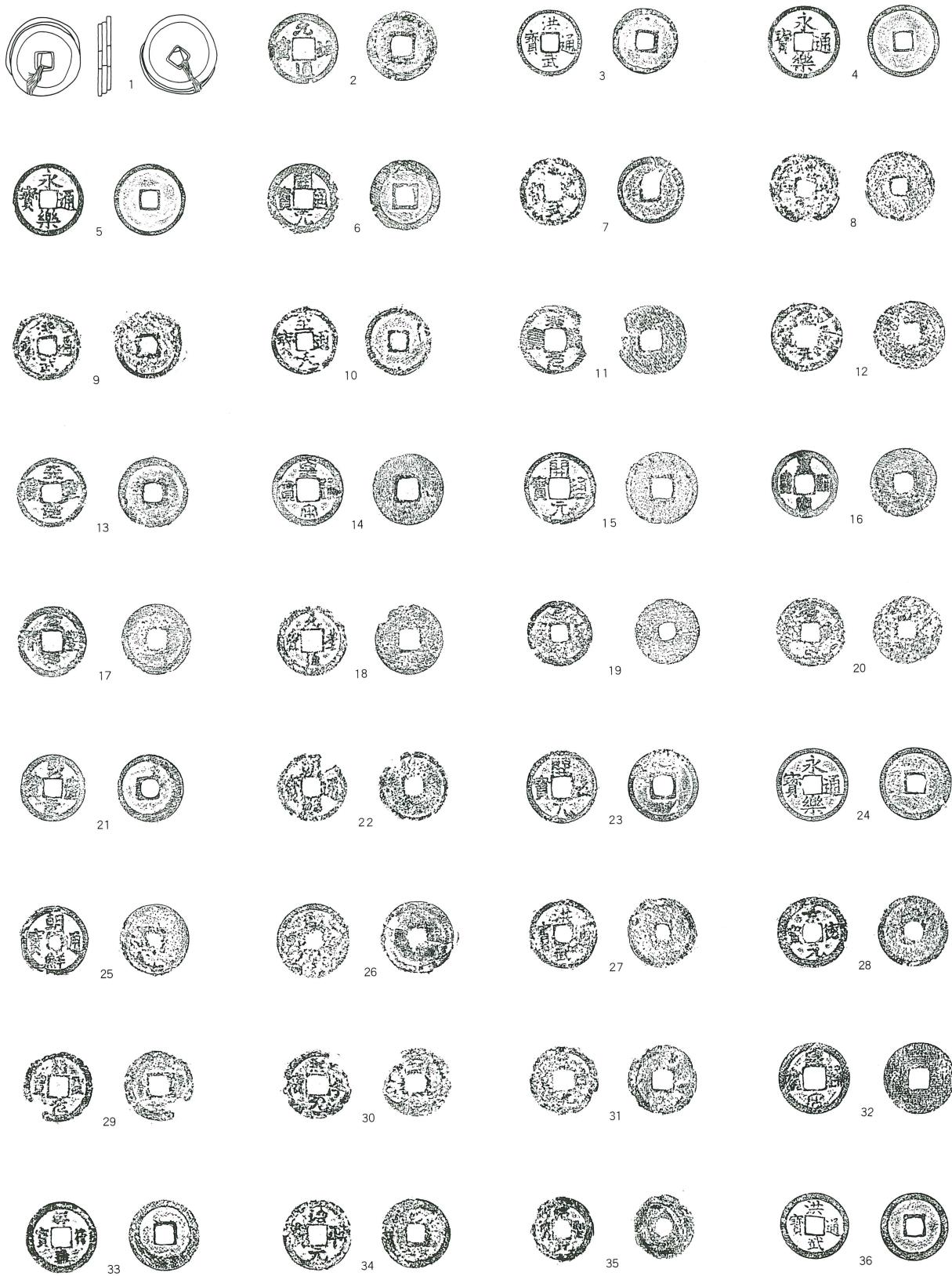
第167図 塔頭遺跡中世土壙出土石臼



塔頭遺跡中世土壙出土遺物観察表

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	かわらけ	(11.5)	(2.2)	(6.0)	ABB'CDF	B	橙	30	SK11	
2	かわらけ	7.4	1.7	3.7	AB'CG	A	にぶい橙	75	SK18	
3	かわらけ	7.2	1.6	4.5	AB'C	B	橙	80	SK42	
4	皿	10.8	4.5	4.5	AB'G	B	浅黄橙	100	SK42	
5	かわらけ	10.5	2.5	6.4	ABB'CDG	B	橙	80	SK51	
6	かわらけ	(7.2)	1.5	(4.9)	ABC'DG	B	橙	45	SK55	
7	皿		1.2	7.7	A	A	オリーブ灰		SK77	
8	かわらけ	7.0	2.3	4.6	AB'CG	B	橙	60	SK78	
9	かわらけ	11.8	3.0	6.2	ABC'G	B	にぶい赤褐	80	SK94	
10	甕	(16.2)	7.5		AB'G	B	にぶい橙	5	SK188	
11	かわらけ	(8.3)	2.7	5.5	ACG	B	明褐	50	SK191	14世紀前半 龍泉窯
12	瓦質内耳鍋	(29.6)	6.3		AC	B	にぶい黄橙		SK191	
13	内耳鍋	(28.4)	15.2	(20.2)	ACG	B	灰黄褐	40	SK191	
14	鉄製品	現長21cm、断面径0.5cm、重さ41.73g SK6 棒状の破片 片側欠								
15	鉄製品	全長20.6cm、断面幅0.4×0.4cm(左)、重さ27.53g SK11 角棒状の完形品 骨片付着								
16	刀子	現長5.7cm、幅最大1.4cm、茎背幅0.3cm、重さ16.46g SK53 茎部? 刃部欠								

第168図 塔頭遺跡中世土壤出土古錢



—171—

塔頭遺跡中世土壤出土古錢一覽

番号	出土遺構	錢 貨 名	初 鑄 年	備 考
1	S K 4	不明		3 枚 繖維 (紐)
2	S K 5	元祐通宝	北宋 1086	
3	S K 5	洪武通宝	明 1367	
4	S K 5	永樂通宝	明 1408	
5	S K 5	永樂通宝	明 1408	
6	S K 5	開元通宝	唐 621	
7	S K 6	洪武通宝 ?	明 1367	
8	S K 6	不明		
9	S K 6	洪武通宝	明 1367	
10	S K 6	至大通宝	元 1310	
11	S K 6	熙寧元宝 ?	北宋 1068	
12	S K 6	熙寧元宝	北宋 1068	
13	S K 7	天聖元宝	北宋 1023	
14	S K 7	皇宋通宝	北宋 1039	
15	S K 7	開元通宝	唐 621	
16	S K 7	皇宋通宝	北宋 1039	纖維 (布)
17	S K 7	元豐通宝	北宋 1078	纖維 (布)
18	S K 7	元豐通宝	北宋 1078	纖維 (布)
19	S K 7	不明		
20	S K 8	洪武通宝	明 1367	
21	S K 8	熙寧元宝 ?	北宋 1068	
22	S K10	朝鮮通宝	朝鮮 1423	
23	S K11	開元通宝	唐 621	
24	S K11	永樂通宝	明 1408	
25	S K11	朝鮮通宝	朝鮮 1423	
26	S K11	不明		
27	S K11	洪武通宝	明 1367	
28	S K44	景德元宝	北宋 1004	
29	S K77	紹聖元宝 ?	北宋 1094	
30	S K77	熙寧元宝 ?	北宋 1068	
31	S K77	聖宋元宝	北宋 1101	
32	S K77	皇宋通宝	北宋 1039	
33	S K81	祥符通宝	北宋 1008	
34	S K81	治平元宝	北宋 1064	
35	S K81	紹聖元宝	北宋 1094	纖維
36	S K97	洪武通宝	明 1367	

## 地神遺跡中世土壙一覧(1)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
16	V-49	N-16°-W	円形	1.17	1.12	0.15	土師質甕
17	V-50	N-9°-E	楕円形	1.08	1.08	0.11	土師質
30	V-48	N-78°-W	楕円形	1.49	1.12	0.19	
31	V-48	N-78°-W	円形	0.71	0.67	0.38	
40	V-49	N-14°-E	方形	0.86	0.76	0.14	土師質
41	U-49	N-43°-E	円形	1.24	1.11	0.48	
59	U-49	N-87°-W	長方形	1.22	0.57	0.14	
65	U-49	N-89°-W	方形	1.02	0.96	0.21	
70	U-50	N-45°-E	楕円形	1.75	0.96	0.21	
72	U-49・50	N-8°-E	方形	1.66	1.49	0.28	土師質
75	T-49	N-67°-W	長方形	2.61	0.79	0.16	土師質
76	T-49	N-10°-E	不整形	1.23	0.91	0.08	SK78と重複
78	T-49	N-39°-E	不整形	0.57 (0.44)	0.18		SK76と重複
79	T-49	N-32°-W	長方形		0.84	0.07	SK208と重複 土師質
83	V-49	N-28°-E	円形	0.95	0.92	0.11	土師質
113	T-50	N-3°-W	楕円形	0.93	0.69	0.22	土師質
114	T-50	N-10°-E	長方形	1.17	0.71	0.45	土師質
122	S-49	N-4°-E	長方形	1.46	0.93	0.93	
123	S-49	N-82°-W	長方形	1.39	1.13	0.12	
126	S-49	N-76°-W	楕円形	0.88	0.68	0.26	
127	S-49	N-3°-W	長方形	0.91	0.69	0.17	SK128・129と重複
128	S-49	N-86°-W	長方形	4.57	1.04	0.34	SK129と重複 土師質
129	S-49	N-8°-E	長方形		0.82	0.31	SK128と重複
144	V-47	N-82°-E	円形	1.23	1.14	0.12	
149	V-47	N-89°-E	楕円形	1.12	0.81	0.13	
176	V-47	N-15°-E	長方形	1.64	0.74	0.26	
185	U-47	N-12°-E	楕円形	1.03		0.09	SK209と重複
208	T-49	N-70°-E	円形	0.84	0.82	0.52	SK79と重複
209	U-47	N-18°-E	楕円形	0.83		0.05	SK185と重複 土師質
213	R-50	N-89°-W	方形	0.81	0.72	0.12	
214	S-50	N-27°-W	円形	1.48	1.32	0.06	
216	R-50	N-85°-W	長方形	1.09	0.81	0.09	
217	R-50	N-16°-E	長方形	1.6	0.67	0.08	人骨・歯
218	R-50	N-88°-W	長方形	0.95	0.68	0.12	
232	V-46	N-45°-W	不整形		0.89	0.38	土師質
233	V-46	N-16°-E	円形	2.14	2.12	0.32	
258	T-47	N-85°-W	長方形	1.37	0.79	0.08	
259	T-47	N-72°-W	楕円形	0.91	0.68	0.15	

## 地神遺跡中世土壤一覧(2)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
261	T-47	N-6°-W	円形	1.02	0.82	0.17	
273	R-47	N-29°-E	楕円形	1.36	1.02	0.11	
275	R-48	N-88°-W	長方形	1.49	0.97	0.18	
278	V-47	N-88°-W	長方形	(1.02)	0.66	0.1	
284	W-46	N-12°-E	不明		(1.24)	0.19	SK290と重複 常滑片口鉢・山茶碗系片口鉢・灰釉鉢・土師質・角閃石安山岩
290	W-46	N-15°-W	不明			0.22	SK284と重複
294	Q-51	N-16°-E	長方形	1.95	0.71	0.25	
307	W-46	N-42°-E	楕円形		0.64	0.16	SK308・309と重複 瓦質盤・土師質
308	W-46	N-64°-E	楕円形		0.72	0.15	SK307・309と重複
309	W-46	N-15°-E	楕円形	0.72	0.52	0.52	SK307・308と重複
314	U-47	N-13°-E	円形	1.49	1.28	0.17	土師質
319	U-47	N-88°-E	円形	1.11	1	0.27	SK322と重複 土師質
322	U-47	N-88°-E	円形	0.57	0.48	0.25	SK319と重複
332	T-46	N-65°-W	楕円形	1.35	0.82	0.31	
337	S-46	N-0°-W	長方形	2.36	1.32	0.17	土師質
338	S-46	N-0°-W	長方形	1.52	1.19	0.12	
340	R-46	N-3°-E	不整方形	1.46	1.39	0.44	土師質・馬齒
341	R-46	N-88°-W	円形	1.04	0.92	0.14	
348	V-45	N-57°-W	楕円形	0.89	0.72	0.16	土師質
350	V-45	N-19°-E	楕円形	0.97	0.68	0.23	土師質
361	U-45	N-4°-E	円形	1.04	1.01	0.12	土師質
362	U-45	N-39°-E	不整方形	1.02	0.85	0.09	
363	U-45	N-12°-E	長方形	1.41	0.66	0.07	
377	S-45	N-80°-W	方形	0.93	0.82	0.27	土師質
379	R-45	N-3°-W	長方形	1.19	0.91	0.42	
380	R-45	N-21°-E	円形	0.79	0.76	0.19	SK383と重複
381	S-45	N-8°-W	長方形	(1.87)	1.29	0.24	土師質
383	R-45	N-0°-W	不整長方形	1.18	(0.92)	0.1	SK380と重複
386	U-44	N-4°-W	円形	0.84	0.75	0.07	SK387・388と重複
387	U-44	N-38°-W	円形	1.2	1.15	0.28	SK386・388と重複 土師質
388	U-44	N-33°-E	楕円形	(1.53)	1.07	0.19	SK386・387と重複 土師質
389	V-44	N-77°-E	楕円形	0.87	0.69	0.18	土師質
390	V-44	N-87°-E	円形	1.05	0.94	0.19	土師質
391	V-44	N-6°-E	円形	0.89	0.86	0.19	土師質
400	U-44	N-6°-W	円形	1.01	0.9	0.11	SK401と重複 土師質
401	U-44	N-76°-W	不整長方形	2.92	2.01	0.27	SK400と重複 土師質
402	W-44	N-11°-W	楕円形	0.86	0.64	0.1	
403	W-44	N-50°-E	円形	0.99	0.96	0.19	

## 地神遺跡中世土壤一覧(3)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
406	R-44	N-70°-W	長方形	1.34	0.95	0.18	
407	R-44	N-17°-E	楕円形	1.41	1.36	0.12	
408	Q-44	N-4°-W	不整方形	1.59	0.89	0.06	SK412と重複
409	Q-44	N-0°-W	長方形	1.76	1.41	0.16	
410	U-44	N-24°-W	円形	1.14	0.98	0.08	
411	R-44	N-84°-W	長方形	(1.56)	0.84	0.07	
412	Q-44	N-77°-W	長方形	1.52	0.71	0.17	SK408と重複
415	U-43	N-73°-W	長方形	2.39	1.57	0.42	土師質
430	U-42	N-89°-W	不整長方形	1.73	1.02	0.17	土師質
443	U-42	N-36°-W	不整方形	1.22	1.11	0.12	土師質
448	U-42	N-0°-W	円形	1.31	(1.11)	0.25	土師質
450	U-42	N-1°-E	不整方形	0.73	0.62	0.16	SK451と重複 土師質
451	U-42	N-1°-E	楕円形	0.93	0.64	0.25	SK450と重複 土師質
453	T-42	N-72°-W	方形	1.01	0.99	0.14	土師質
459	T-42	N-50°-E	円形	1.41	(1.25)	0.1	土師質
464	T-42	N-28°-W	長方形	1.43	0.87	0.23	土師質
470	U-41	N-25°-W	楕円形		1.01	0.14	SK479と重複
476	U-41	N-0°-W	長方形	1.79	1.19	0.18	土師質
477	U-41		楕円形		1.13	0.22	土師質
479	U-41	N-78°-W	不整方形	1.41	1.34	0.16	SK470と重複 土師質
480	R-41	N-22°-W	楕円形	1.35	0.95	0.14	
482	S-41	N-16°-E	長方形	1.42	(1.17)	0.19	SK483と重複 土師質
483	S-41	N-13°-E	楕円形	0.89	(0.62)	0.11	SK482と重複 土師質
486	U-41	N-37°-E	楕円形	1.55	0.93	0.08	土師質
487	S-41	N-78°-W	不整長方形	1.27	1.07	0.31	SK488と重複 土師質
488	S-41	N-4°-E	長方形	2.21	0.67	0.18	SK487と重複 土師質
500	S-41	N-88°-W	楕円形	1.33	1.01	0.25	土師質
501	S-41	N-86°-W	長方形	1.26	0.76	0.14	土師質
503	V-41	N-6°-E	楕円形	0.97	0.72	0.13	土師質
535	V-41	N-35°-E	長方形	2.19	0.89	0.36	礫床 SK530・536・537と重複 かわらけ
536	R-40	N-49°-E	楕円形	1.04	0.82	0.11	SK530・535・537と重複 土師質
537	V-41	N-23°-E	円形	1.39	1.16	0.28	SK530・535・536と重複 土師質
539	Q-33	N-72°-E	楕円形	0.77	0.59	0.11	SK540と重複 土師質
540	Q-33	N-15°-W	楕円形	0.71	(0.51)	0.11	SK539と重複 土師質
541	Q-33	N-18°-E	楕円形	1.43	0.95	0.33	土師質
551	T-41	N-88°-W	不明		1.47	0.13	土師質
559	R-32	N-82°-E	円形	0.84	0.76	0.14	
560	S-32	N-23°-E	円形	0.71	0.68	0.23	
561	S-31	N-34°-W	楕円形	1.07	1.06	0.16	

地神遺跡中世土壙一覧 (4)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
563	T-31	N-11°-E	円形	0.84	0.81	1.18	
564	R-31	N-49°-E	楕円形		0.71	0.21	
565	R-31	N-10°-W	円形	0.7	0.69	0.27	
567	S-30	N-0°-W	円形	0.49	0.44	0.13	
568	S-30	N-0°-W	円形	0.57	0.49	0.1	
569	S-30	N-44°-E	円形	0.87	0.78	0.12	
572	P-30	N-84°-E	円形	1.02	0.97	0.17	
573	M-31	N-74°-E	楕円形	0.89	0.66	0.31	

塔頭遺跡中世土壙一覧 (1)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
2	T-22	N-11°-E	長方形	2.08	0.78	0.14	
4	U-22	N-3°-W	長方形	1.17	0.77	0.58	人骨・古銭
5	U-21	N-4°-E	長方形	1.28	0.97	0.13	人骨・古銭
6	U-21	N-0°-W	楕円形	1.03	0.82	0.1	棒状鉄製品・人骨・古銭
7	U-21	N-9°-E	長方形	1.11	0.76	0.16	磨石・人骨・古銭
8	U-21	N-2°-E	楕円形	1.11	0.79	0.47	人骨・古銭
9	T-21	N-0°-W	楕円形	1.21	0.89	0.06	土師質
10	T-20	N-90°-E	長方形	2.34	0.97	0.52	焼土塊・古銭
11	V-21	N-20°-W	楕円形	1.22	1.02	0.17	かわらけ・角棒状鉄製品・人骨・古銭
12	T-20	N-17°-W	長方形		1.02	0.51	SK25・57と重複 土師質・中世陶器
13	S-20	N-0°-W	長方形	1.78	1.06	0.42	
14	T-20	N-21°-W	不整長方形	1.86	1.05	0.23	
16	T-20	N-5°-W	不整長方形	1.94	1.01	0.41	SK17・18・19と重複 かわらけ・焼土塊
17	T-20	N-2°-W	不整形	1.67	1.62	0.43	SK16・18・19と重複 土師質・焼土塊
18	T-20	N-0°-W	長方形	1.97	1.14	0.81	SK16・17・19と重複 かわらけ・焼土塊
19	S-18	N-39°-E	長方形		0.62	0.47	SK16・17・18と重複
25	T-20	N-17°-E	長方形	2.21	1.04	0.64	SK12・57と重複 かわらけ・中世陶器
29	S-20	N-89°-W	楕円形	1.06	0.86	0.32	土師質
30	T-19	N-75°-E	長方形	1.54	0.92	0.54	
31	T-19	N-90°-E	長方形	1.41	0.94	0.09	
32	T-19	N-0°-W	不整形	(1.16)	(0.74)	0.19	SK60と重複
34	T-19	N-0°-W	長方形	1.38	1.03	0.36	土師質
35	T-19	N-85°-E	長方形		0.78	0.08	SK36・37・38・55と重複 土師質
36	T-19	N-3°-W	長方形	2.06	1.58	0.17	SK35・37・38・55と重複 土師質
37	T-19	N-0°-W	長方形	2.09	0.94	0.25	SK35・36・38・55と重複
38	T-19	N-0°-W	楕円形	0.78	0.58	0.46	SK35・36・37・55と重複
39	T-19	N-3°-W	長方形	1.28	0.75	0.19	
40	T-19	N-0°-W	長方形	2.14	0.98	0.24	SK41と重複

塔頭遺跡中世土壙一覧(2)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
41	T-19	N-0°-W	長方形	1.65		0.07	SK40と重複
42	T-19	N-90°-E	長方形		0.86	0.11	SK53・67・68・69と重複 かわらけ・皿
43	T-19	N-6°-W	長方形	2.27	0.98	0.37	SK44と重複
44	T-19	N-6°-W	長方形		1.39	0.27	SK43と重複 古銭
45	T-19	N-3°-W	不整形	(1.13)			SK46・47・48と重複 中世陶器・焼土塊
46	T-19	N-3°-W	方形	1.21	1.04	0.44	SK45・47・48と重複
47	T-19	N-9°-W	不明				SK45・46・48と重複
48	T-19	N-9°-W	不明				SK45・46・47と重複
49	T-19	N-6°-W	長方形	2.25	1.21	0.34	SK50・54と重複
50	T-19	N-6°-W	長方形	2.78	0.93	0.45	SK49・54と重複
51	T-19	N-90°-E	長方形	1.91	0.98	0.47	かわらけ・擂鉢
52	T-19	N-7°-W	長方形	2.34	1.14	0.66	かわらけ・擂鉢
53	T-19	N-0°-W	不明		0.85	0.11	SK42・67・68・69と重複 刀子
54	T-19	N-6°-W	長方形			0.34	SK49・50と重複
55	T-19		不明				SK35・36・37・38と重複 かわらけ・焼土塊
56	T-20	N-2°-W	楕円形	1.46	0.61	0.21	
57	T-20		不明			0.52	SK12・25と重複
58	S-19	N-7°-W	長方形	2.48	1.03	0.14	
60	T-19	N-0°-W	長方形	1.84	0.84	0.16	SK32と重複
61	T-18	N-0°-W	長方形	2.01	1.14	0.29	SK112と重複
62	U-18	N-3°-W	長方形	1.49	0.98	0.13	
63	U-18	N-2°-W	長方形	2.79	1.08	0.16	擂鉢・こね鉢・鍋
64	U-18	N-9°-W	長方形	1.48	1.1	0.06	
65	V-19	N-85°-E	不整方形	1.57	1.31	0.06	かわらけ・擂鉢・鍋
67	T-19	N-6°-W	長方形			0.23	SK42・53・68・69と重複
68	T-19	N-5°-W	長方形	1.26	0.92	0.24	SK42・53・67・69と重複
69	S-19	N-0°-W	長方形	2.21	1.02	0.35	SK42・53・67・68と重複 土師質
70	S-19	N-3°-W	楕円形	1.16	0.85	0.17	土師質
71	T-19	N-0°-W	長方形	1.07	0.68	0.24	SK72と重複
72	T-19	N-4°-W	楕円形	1.26	0.96	0.35	SK71と重複
75	U-18	N-5°-W	長方形	2.82	1.69	0.2	こね鉢・土師質
77	U-20	N-8°-W	楕円形	1.15	0.81	0.14	青磁皿・人骨・古銭
78	U-20・21	N-72°-E	不整形	2.9	1.92	0.14	かわらけ
82	V-19	N-19°-W	長方形	1.54	1.12	0.14	
85	U-18	N-21°-W	長方形	1.19	0.75	0.09	人齒
87	T-18	N-0°-W	方形	2.29		0.26	SK88・89と重複
88	T-18		不整形			0.12	SK87・89と重複
89	T-18	N-2°-E	長方形	2.39	1.62	0.25	SK87・88と重複 擂鉢・焼土塊

## 塔頭遺跡中世土壙一覧(3)

番号	グリッド	長軸方位	平面形	長さ	幅	深さ	備考
90	T-19	N-0°-W	長方形		0.71	0.16	SK91・92と重複
91	T-19	N-0°-W	円形	0.84		0.12	SK90・92と重複
92	T-19	N-0°-W	長方形	(1.92)	0.31	0.19	SK90・91と重複
93	U-18	N-84°-E	楕円形	1.23	1.07	0.18	SK94と重複
94	U-18	N-15°-W	楕円形	1.17	1.08	0.34	SK93と重複 かわらけ
96	V-18	N-0°-W	不整円形	1.97	1.46	1.11	
97	V-18	N-0°-W	楕円形	1.22	0.98	0.17	人骨・古銭
98	T-17	N-0°-W	長方形	2.89	0.95	0.15	
99	V-17	N-90°-E	長方形	3.04	0.85	0.3	
100	T-15	N-0°-W	長方形	1.82	0.86	0.06	
101	T-15	N-87°-W	長方形	2.27	1.09	0.27	土師質
102	T-16	N-12°-E	長方形	2.33	0.94	0.15	
103	T-16	N-68°-W	長方形	1.42	0.86	0.1	
104	U-15	N-74°-W	長方形	1.54	0.89	0.16	土師質
105	U-15	N-88°-W	長方形	3.73	0.88	0.13	土師質
106	U-15	N-45°-E	長方形	1.86	0.8	0.08	
107	V-16	N-90°-E	楕円形	1.61	1.1	0.11	
109	R-18	N-10°-E	楕円形	1.03	0.82	0.19	
112	T-18	N-90°-E	楕円形		0.71	0.24	SK61と重複
120	T-14	N-58°-E	不整長方形	1.29	0.96	0.05	
133	V-19	N-4°-W	長方形	(1.92)	0.79	0.21	
134	V-19	N-15°-W	長方形	2.01	0.61	0.31	
136	Q-6	N-61°-W	隅丸方形	2.92	2.67	1.1	石臼・茶臼・擂鉢・こね鉢・鍋
167	S-29	N-67°-W	円形	1.44	1.37	0.16	
181	Q-27	N-0°-W	不整形	1.42	1.38	0.09	かわらけ・人骨
188	O-26	N-84°-W	長方形	2.56	1.16	0.68	甕
191	U-19	N-0°-W	長方形	2.68	1.99	0.68	瓦質内耳鍋・内耳鍋・石臼

## 4 井戸跡

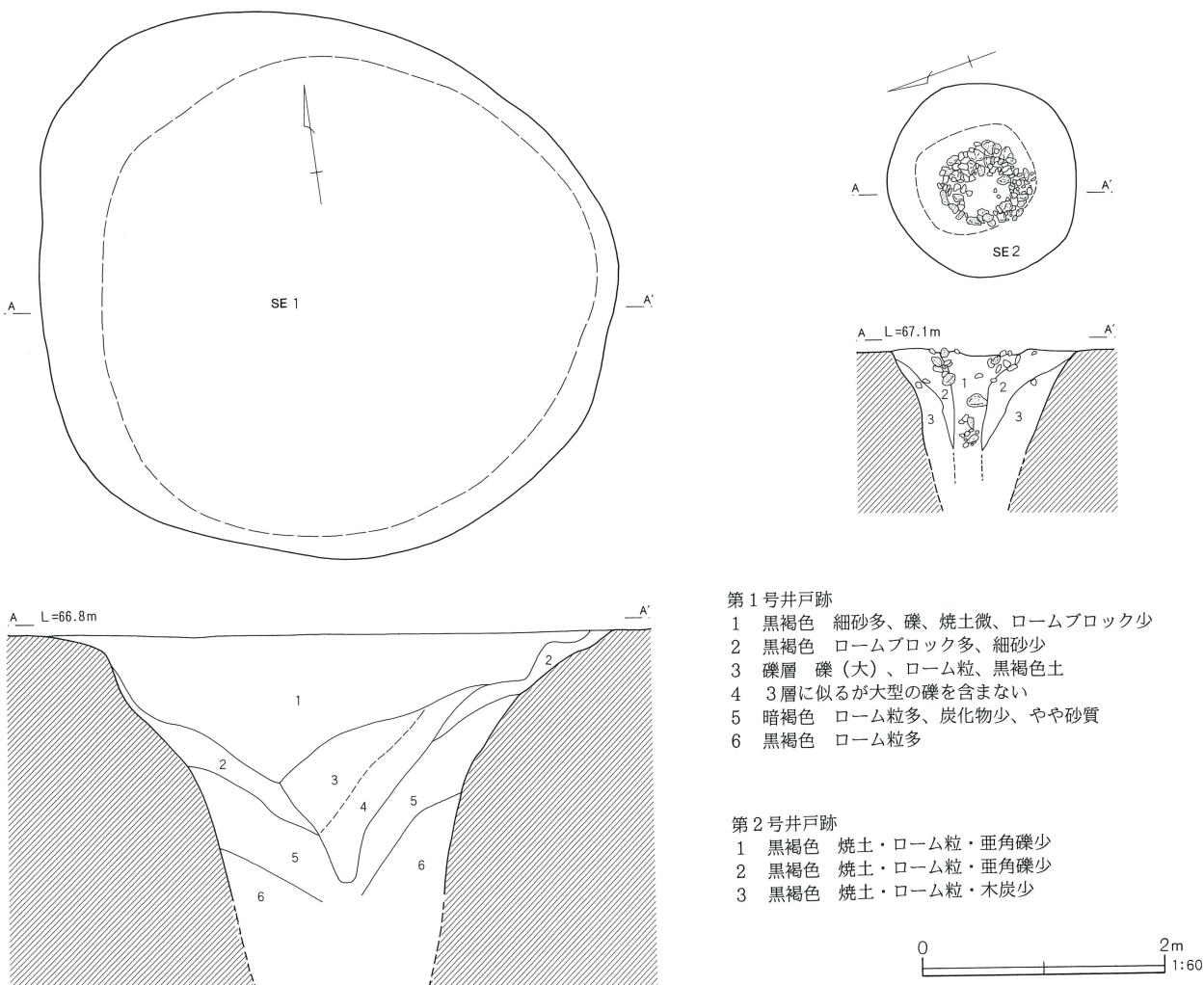
### 地神遺跡第1号井戸跡（第169図）

U-47グリッドを中心に位置する。平面形態は円形で、規模は4.86×4.48m、深さは2.90m以上で、重機による掘削を行なったが底面は検出できなかった。断面は概ね漏斗状で、中央に礫層が見られた。遺物は常滑甕片、鉄製品が出土した。

### 地神遺跡第2号井戸跡（第169図）

U-42グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は径約1.60m、深さは1.40m以上である。底面確認は出来なかった。断面は漏斗状だが、上層部中央に石組が検出されたことから、本来の井戸としての機能は中央部のみと考えられる。遺物は出土しなかった。

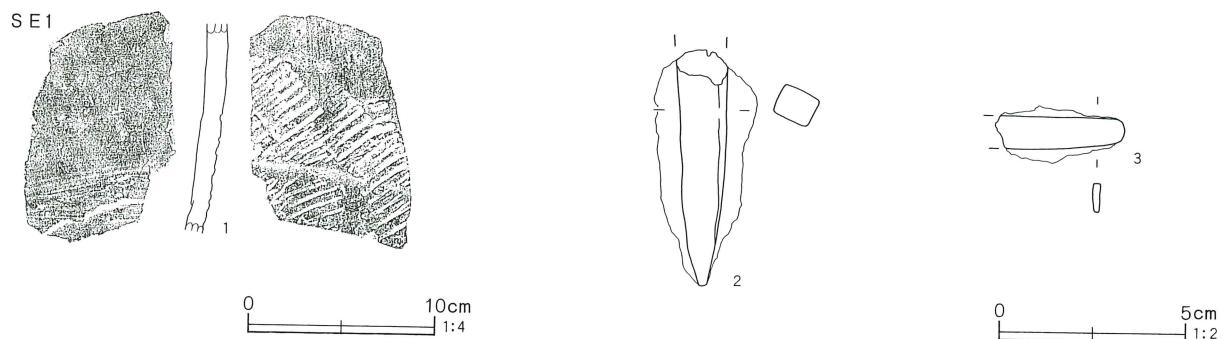
第169図 地神遺跡第1・2号井戸跡



地神遺跡井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	常滑甕				A	A	灰白		SE1	13世紀 外面自然釉付着
2	鉄製品	現長6.3cm、断面幅1.0×0.8cm、重さ38.16g	SE1	角棒状の破片	釘？	片側欠				
3	鉄製品	現長3.5cm、断面幅0.8cm、厚さ0.1~0.2cm、重さ5.08g	SE1	刀子の茎部？						

第170図 地神遺跡第1号井戸跡出土遺物



#### 塔頭遺跡第1号井戸跡（第171図）

U-19グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は $3.72 \times 2.95m$ 、深さは4.00m以上である。重機による掘削を行なったが、地下水の湧出が激しく、崩落のため底面の確認は出来なかった。断面は漏斗状で、覆土の観察では埋め戻された可能性が高い。遺物はすり鉢、石臼、茶臼、五輪塔（火輪）、銅製の髪搔の他、馬の歯が出土した。

#### 塔頭遺跡第3号井戸跡（第171図）

U-19グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は $4.53 \times 4.06m$ 、深さは4.00m以上である。重機による掘削を行なったが、地下水の湧出が激しく、崩落のため底面の確認は出来なかった。断面は漏斗状で、覆土には礫が多く見られた。遺物は白磁皿、鉢、すり鉢、片口鉢、内耳鍋、砥石、石臼、宝篋印塔、五輪塔が出土した。

#### 塔頭遺跡第4号井戸跡（第172図）

S-19グリッドに位置する。平面形態はほぼ円形で、規模は $2.95 \times 2.52m$ 、深さは1.60mである。断面は袋状で、覆土上層に大型の礫が観察された。遺物は片口鉢、すり鉢が出土した。

#### 塔頭遺跡第5号井戸跡（第172図）

T-18グリッドに位置する。平面形態はほぼ円形で、規模は $4.04 \times 3.52m$ 、深さは4.00m以上である。

重機による掘削を行なったが、地下水の湧出が激しく、崩落のため底面の確認は出来なかった。断面は漏斗状で、覆土の観察では埋め戻された可能性が高い。遺物は火鉢、片口鉢、内耳鍋、常滑甕等が出土した。

#### 塔頭遺跡第6号井戸跡（第173図）

周回道路部分のI-13グリッドを中心に位置する。平面形態は円形で、規模は $4.53 \times 4.19m$ 、深さは4.60m以上である。重機による掘削を行なったが、地下水の湧出が激しく、崩落のため底面確認は出来なかった。断面は漏斗状で、覆土上層に浅間B軽石が含まれていた。遺物は、曲物の底と思われる木製品が出土した。

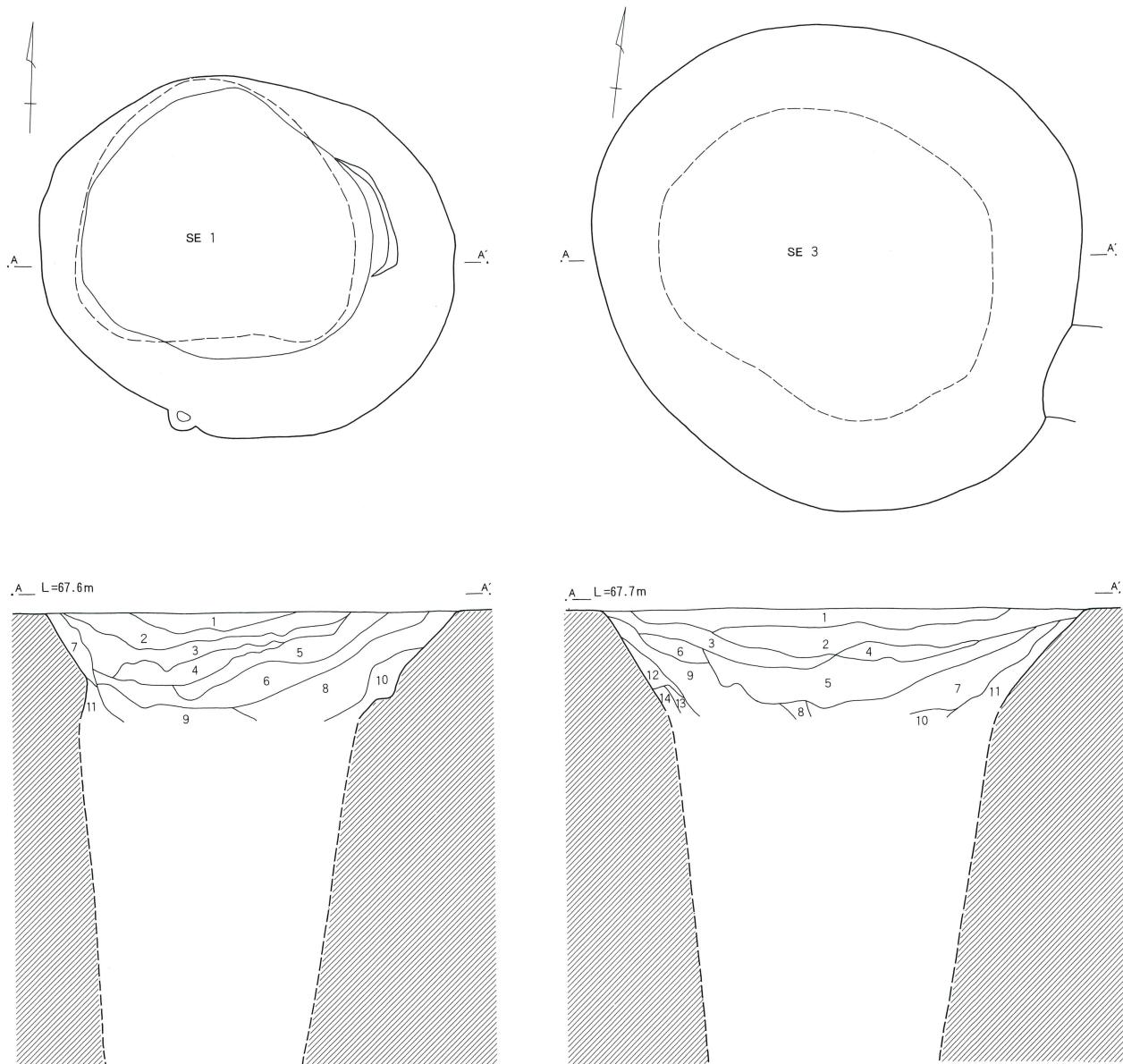
#### 塔頭遺跡第7号井戸跡（第173図）

Q-28グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は径約1.50m、深さは1.80mである。断面は漏斗状で、覆土上層に浅間B軽石が含まれていた。遺物は出土しなかった。

#### 塔頭遺跡第8号井戸跡（第174図）

Q-29グリッドに位置する。第9号井戸跡と重複するが、新旧は明らかでない。平面形態は円形で、規模は径約2.20m、深さは1.20mである。深さが浅いため井戸跡ではない可能性もある。断面は逆台形で、覆土の観察では埋め戻されたようである。遺物は鉄滓が1点出土した。

第171図 塔頭遺跡第1・3号井戸跡



第1号井戸跡

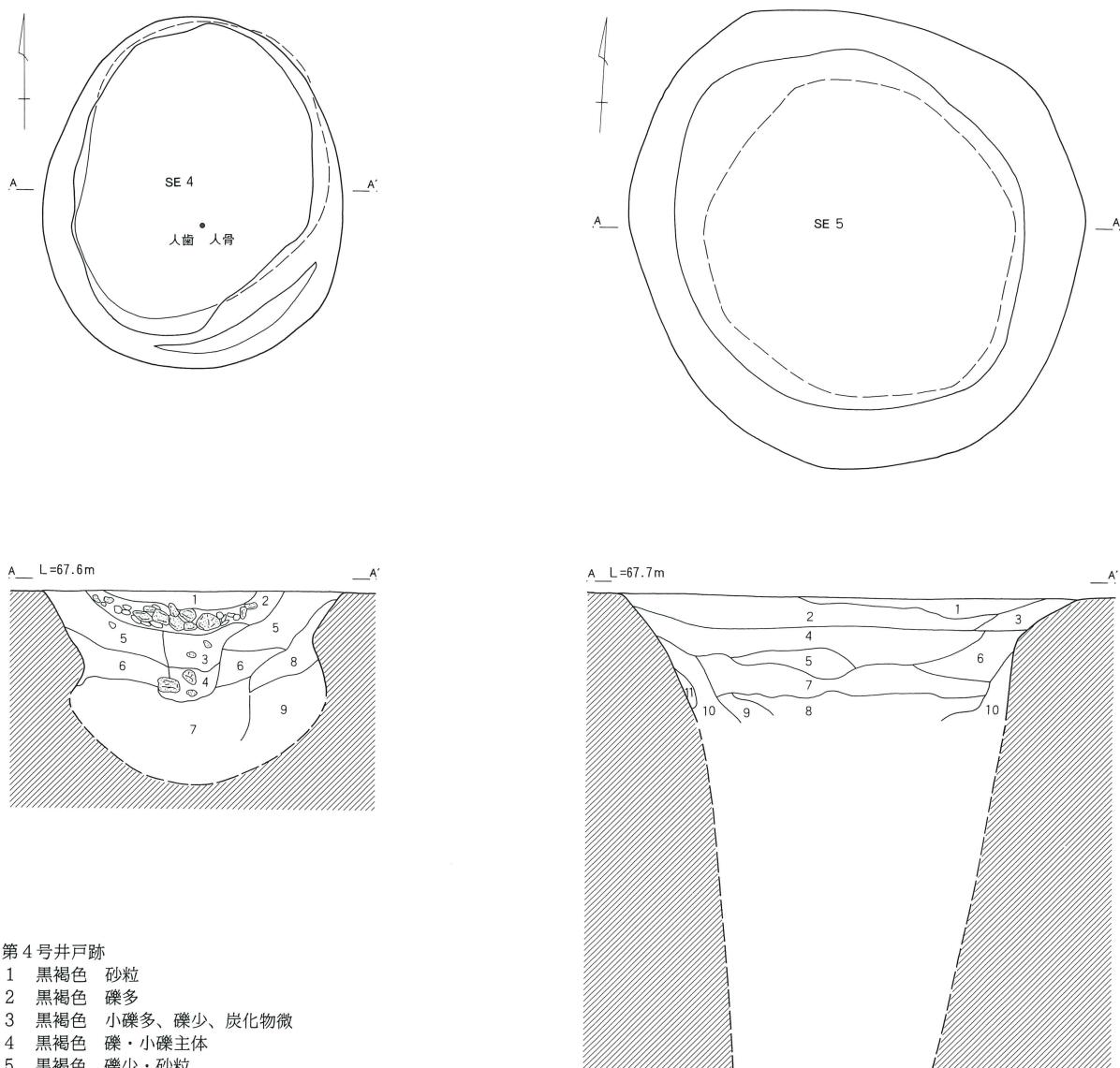
- 1 黒褐色 小礫・褐色粒多、埋戻土
- 2 黒褐色 褐色粒極多、小礫微、埋戻土
- 3 黒褐色 砂礫層、褐色・黒褐色粒多、礫、埋戻土
- 4 黒褐色 磯、褐色粒少、埋戻土
- 5 黒褐色 砂礫層、礫、砂、褐色粒、埋戻土
- 6 黒褐色 褐色粒多、小礫少、埋戻土
- 7 暗褐色 褐色粒極多、小礫極微
- 8 黒褐色 砂礫層、褐色粒少、埋戻土
- 9 黒褐色 磯層、礫、黒褐色土、埋戻土
- 10 黒褐色 砂礫層、8層に似るが、砂礫細粒、埋戻土
- 11 黒褐色 褐色粒多

第3号井戸跡

- 1 暗褐色 褐色粒・小礫少
- 2 黒褐色 磯、褐色粒少
- 3 暗褐色 2層に似るが、礫少
- 4 暗褐色 3層に似るが、小礫
- 5 暗褐色 磯層、礫（大）主体、暗褐色土
- 6 黒褐色 褐色粒・炭化粒少
- 7 黒褐色 磯層、礫、黒褐色土
- 8 黒褐色 褐色粒・小礫少
- 9 黒褐色 褐色粒・小礫・炭化粒少
- 10 黒褐色 褐色粒・小礫・炭化粒少
- 11 暗褐色 褐色粒多、炭化粒少
- 12 暗褐色 褐色粒極多
- 13 黒褐色 炭化粒・褐色粒少
- 14 黒褐色 褐色粒多



第172図 塔頭遺跡第4・5号井戸跡

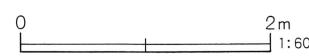


第4号井戸跡

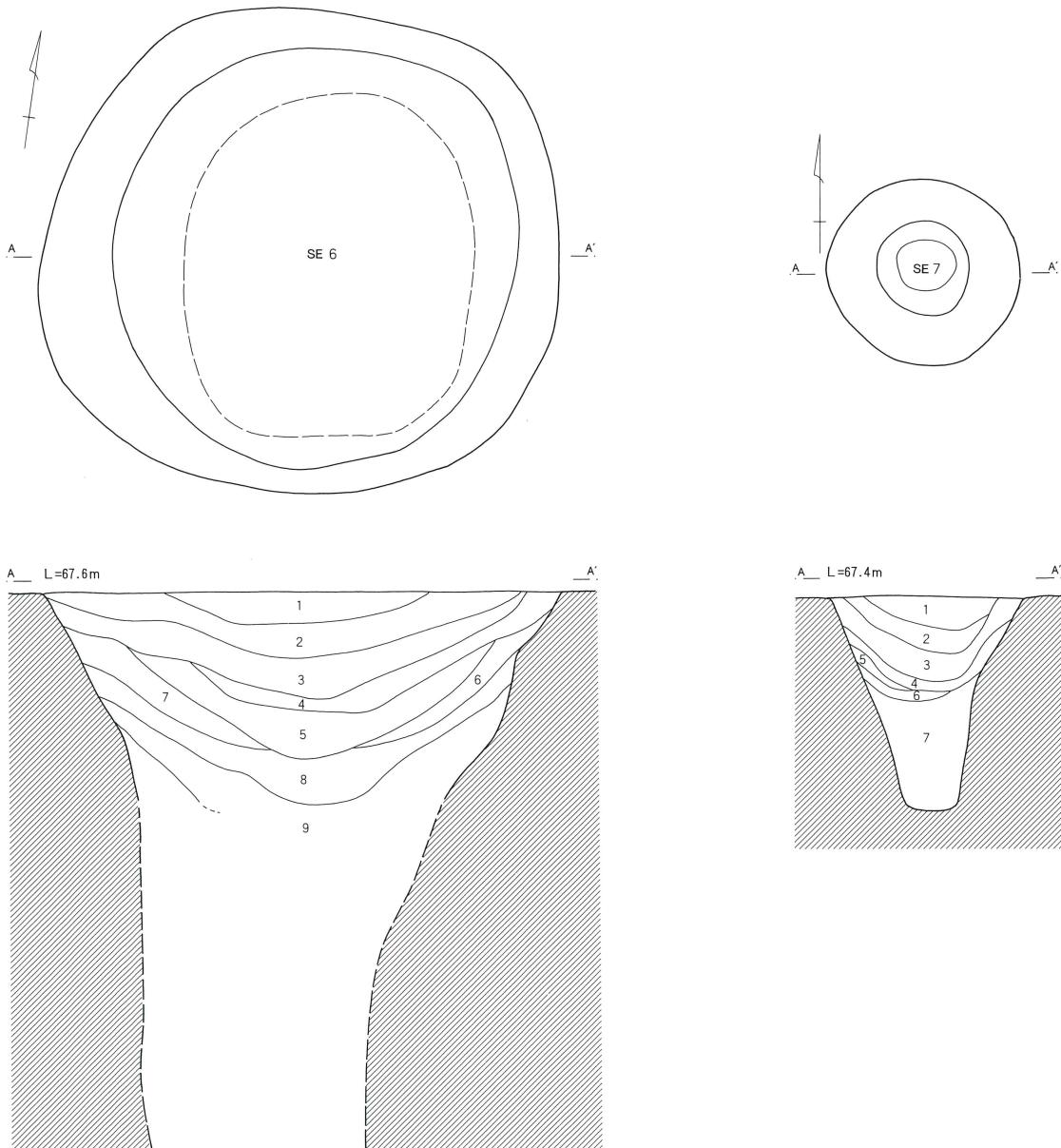
- 1 黒褐色 砂粒
- 2 黒褐色 碓多
- 3 黒褐色 小礫多、礫少、炭化物微
- 4 黒褐色 碓・小礫主体
- 5 黒褐色 碓少・砂粒
- 6 暗褐色 ローム粒微、砂粒
- 7 暗褐色 碓・ローム粒少、砂粒
- 8 暗褐色 碓少、ローム粒多、砂粒
- 9 黒褐色 碓・ローム粒少、砂粒

第5号井戸跡

- 1 暗褐色 褐色粒・小礫多
- 2 黒褐色 砂礫層 碓、砂、褐色土、黒褐色土
- 3 黒褐色 小礫・褐色粒多
- 4 黒褐色 砂礫層 2層に似るがやや小礫多
- 5 暗褐色 砂利層 小礫・砂の間に褐色土
- 6 黒褐色 小礫・褐色粒少
- 7 黒褐色 碓層 碓、黒褐色、褐色粒
- 8 黒褐色 小礫・褐色粒少
- 9 黒褐色 碓層 褐色・黒褐色粒
- 10 黒褐色 褐色粒多、小礫微
- 11 暗褐色 褐色粒極多



第173図 塔頭遺跡第6・7号井戸跡



第6号井戸跡

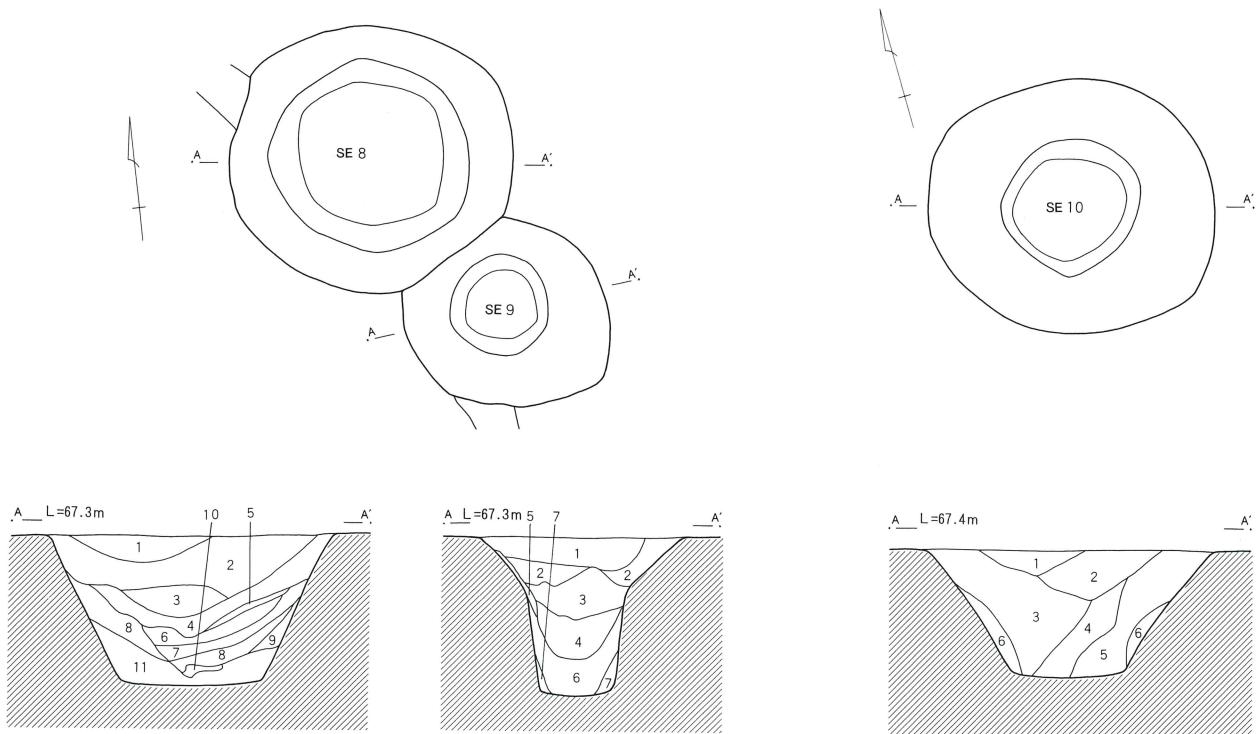
- 1 暗褐色 シルト質細砂 磯、浅間B多
- 2 褐色 細砂質シルト マンガン結核少、ロームブロック・シルトブロック主体
- 3 暗褐色 シルト質細砂 磯多、浅間B・ロームブロック少
- 4 暗褐色 細砂 マンガン結核・炭化粒少
- 5 褐色 細砂質シルト 2層に似る、やや磯多
- 6 暗褐色 砂磯 1層に似る、磯主体
- 7 暗褐色 シルト質細砂 3層に似る、やや磯少
- 8 暗褐色 シルト質細砂 3層に似る、磯微
- 9 褐色 細砂質シルト 2層に似る、ロームブロック多

第7号井戸跡

- 1 暗褐色 シルト質細砂 浅間B・小磯多、ローム 小ブロック少、焼土ブロック微
- 2 にぶい黄褐色 細砂質シルト 浅間B少、ローム 小ブロック多、小磯・焼土ブロック微
- 3 暗褐色 細砂質シルト 浅間B・ローム小ブロック シルト小ブロック多、焼土ブロック少
- 4 暗褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック・シルト 小ブロック・焼土小ブロック多
- 5 褐色 シルト ローム小ブロック・シルト 小ブロック多
- 6 にぶい黄褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック・シルトブロック多
- 7 黒褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック少、焼土小ブロック微



第174図 塔頭遺跡第8・9・10号井戸跡



第8号井戸跡

- 1 黒褐色 磯・白色砂粒多、焼土・ローム粒少
- 2 暗褐色 磯・白色砂粒・火山灰多、ロームブロック・ローム粒・炭化粒少
- 3 黒褐色 白色砂粒・火山灰多、ローム粒・炭化物・磯少
- 4 暗褐色 ローム粒・白色砂粒・火山灰・焼土・小磯少
- 5 暗褐色 ローム粒多、白色砂粒少
- 6 黒褐色 シルト質 ローム粒多
- 7 暗褐色 ローム粒多、焼土・炭化物少
- 8 黒褐色 砂質シルト ローム粒・小磯・炭化物少
- 9 褐色 ローム細粒主体、黒褐色土粒
- 10 褐色 ローム主体、ブロック状
- 11 暗褐色 シルト質 焼土ブロック極少、ローム粒少

第9号井戸跡

- 1 黒褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック・焼土小ブロック少、炭化物微  
灰ブロック・浅間B多
- 2 褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック・浅間B多
- 3 褐色 細砂質シルト ローム小ブロック少、マンガン結核・浅間B多
- 4 にぶい黄褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック・マンガン結核多
- 5 暗褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック・マンガン結核多
- 6 暗褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック多
- 7 黒褐色 砂礫 シルト混砂礫層 壁面下層崩落土

第10号井戸跡

- 1 暗褐色 シルト質細砂 小磯多、焼土小ブロック微、浅間B少
- 2 暗褐色 砂礫 焼土少ブロック微、浅間B少
- 3 褐色 シルト質細砂 小磯・焼土小ブロック少、浅間B多
- 4 暗褐色 細砂質シルト 小磯多、焼土ブロック微、浅間B少
- 5 暗褐色 砂礫
- 6 褐色 シルト ローム小ブロック多



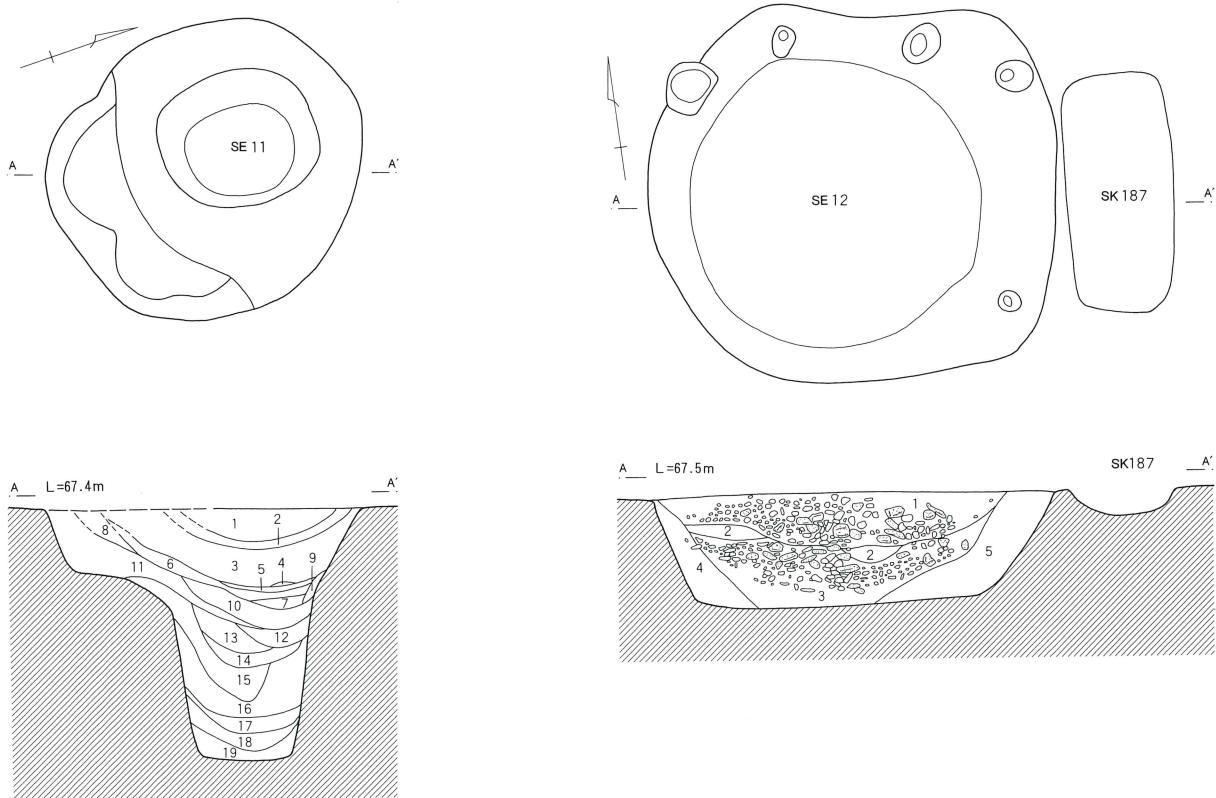
### 塔頭遺跡第9号井戸跡（第174図）

Q-29グリッドに位置する。第8号井戸跡と重複する。平面形態はほぼ円形で、規模は径約1.50m、深さは1.32mである。断面は漏斗状で、覆土上層には浅間B軽石が含まれていた。遺物は出土しなかった。

### 塔頭遺跡第10号井戸跡（第174図）

P-29グリッドに位置する。平面形態はほぼ円形で、規模は径約2.15m、深さ1.00mである。深さが浅いため井戸跡ではない可能性もある。断面は逆台形で、覆土は埋め戻されていた。遺物は板碑が1点出土した。

第175図 塔頭遺跡第11・12号井戸跡



第11号井戸跡

- 1 暗褐色 シルト質細砂 浅間B少、ローム小ブロック多
- 2 黒褐色 シルト質細砂 炭化粒・ローム小ブロック多、有機質層
- 3 暗褐色 シルト質細砂 浅間B・ローム小ブロック・焼土小ブロック多
- 4 にぶい黄褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック主体
- 5 褐灰色 灰層
- 6 暗褐色 シルト質細砂 炭化粒多、ローム小ブロック・焼土小ブロック少  
有機質層
- 7 にぶい黄褐色 シルト ローム小ブロック主体、小礫少
- 8 暗褐色 シルト質細砂 ローム小ブロック少
- 9 にぶい黄褐色 シルト ローム小ブロック主体
- 10 暗褐色 シルト ローム小ブロック・小礫多
- 11 暗褐色 細砂質シルト ローム小ブロック多、焼土小ブロック微
- 12 褐色 シルト質粘土 ローム層に玉石混入
- 13 にぶい黄褐色 粘土質シルト ロームブロック主体  
シルトブロック・マンガン結核少
- 14 暗褐色 細砂質シルト シルトブロック主体、ロームブロック
- 15 褐色 粘土 シルトブロック少、小礫微
- 16 暗褐色 シルト質粘土 シルトブロック多、ローム小ブロック主体
- 17 暗褐色 シルト質細砂 シルトブロック少、自然堆積層
- 18 暗褐色 細砂質シルト シルトブロック少、自然堆積層
- 19 褐色 細砂質粘土 シルトブロック少、自然堆積層

第12号井戸跡

- 1 暗褐色 砂礫 浅間B・焼土小ブロック少  
礫・シルトブロック多
- 2 暗褐色 シルト質細砂 浅間B多、礫少、シルトブロック主体
- 3 暗褐色 砂礫 浅間B多、シルトブロック少
- 4 暗褐色 シルト質細砂 浅間B少  
シルトブロック多
- 5 暗褐色 シルト質細砂 浅間B・シルトブロック多  
ローム小ブロック少

0 2m  
1:60

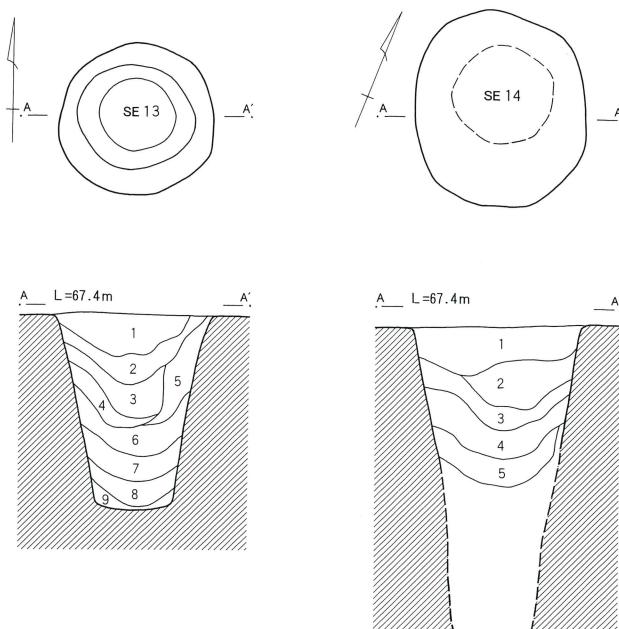
### 塔頭遺跡第11号井戸跡（第175図）

O-29グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、南側にテラス状の段を持つ。規模は2.50×2.28m、深さは1.97mである。断面は漏斗状をし、覆土の観察では下層は自然堆積で、上層は埋め戻された可能性が考えられる。遺物は渥美甕が出土した。

### 塔頭遺跡第12号井戸跡（第175図）

O-29グリッドに位置する。平面形態は楕円形だが、東側はやや直線的である。規模は2.86×3.24m、深さは0.79mである。深さが浅いので井戸跡ではない可能性が考えられる。断面は逆台形で、覆土には礫、浅間B軽石が含まれていた。遺物は片口鉢、常滑甕が出土した。

第176図 塔頭遺跡第13・14号井戸跡



### 塔頭遺跡第13号井戸跡（第176図）

Q-27グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は径約1.25m、深さは1.64mである。断面は底面がやや細くなる円筒状で、上層には浅間B軽石が含まれていた。遺物は出土しなかった。

### 塔頭遺跡第14号井戸跡（第176図）

P-26グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は1.55×1.36m、深さは2.40m以上である。重機で底面の確認を行なったが、検出できなかった。断面は底面が細くなる円筒状と思われる。遺物は出土しなかった。

#### 第13号井戸跡

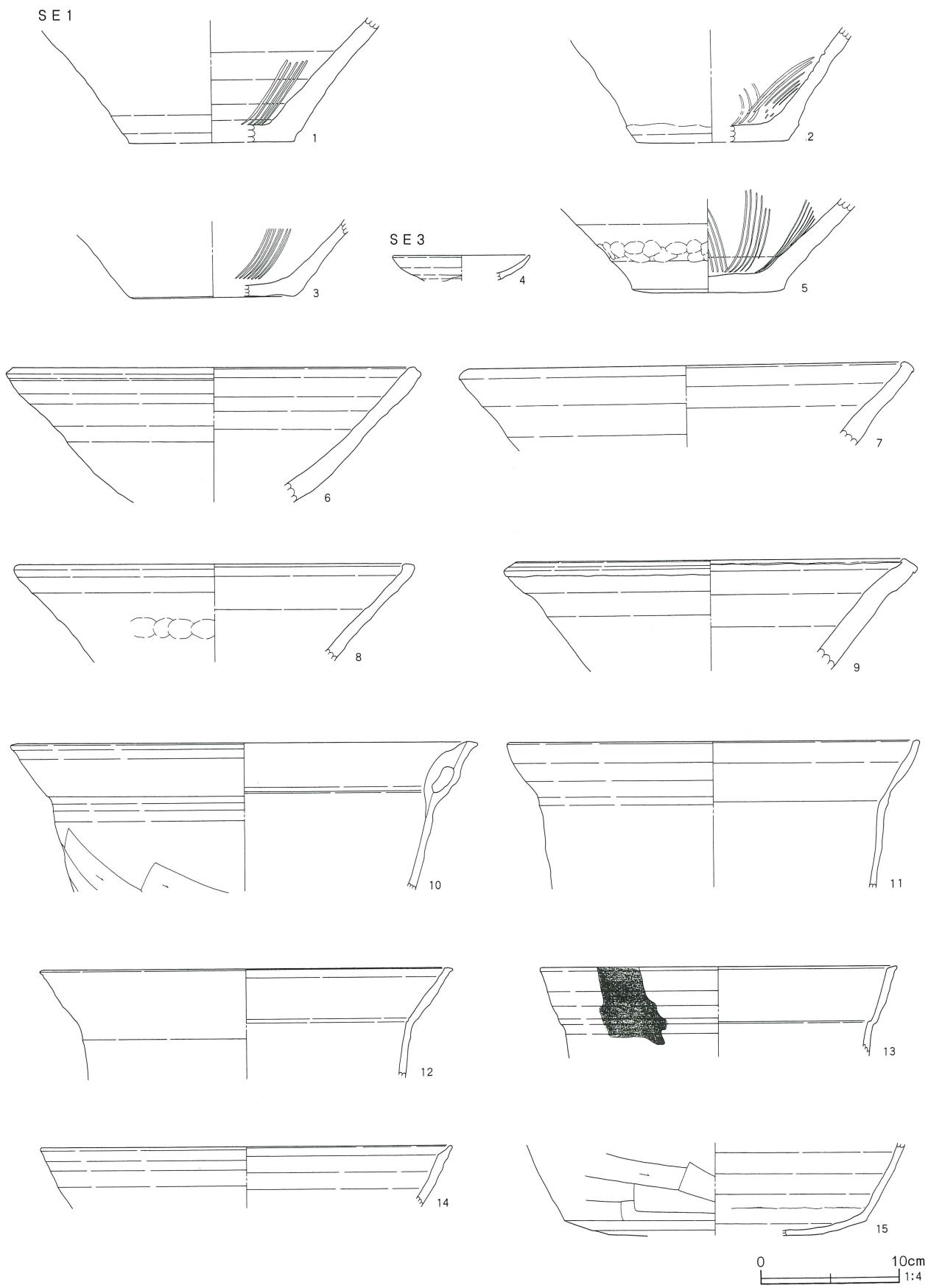
1	黒褐色	シルト質細砂	ローム小ブロック・浅間B多 焼土小ブロック・礫少
2	暗褐色	細砂質シルト	ローム小ブロック・浅間B多 礫少
3	暗褐色	シルト質細砂	ローム小ブロック・礫少 浅間B微
4	暗褐色	細砂質シルト	ローム小ブロック主体、礫微
5	暗褐色	砂礫	ローム小ブロック・礫多
6	黒褐色	細砂	ローム小ブロック・礫少
7	暗褐色	粘質土	
8	暗褐色	細砂質シルト	
9	黒褐色	細砂	

#### 第14号井戸跡

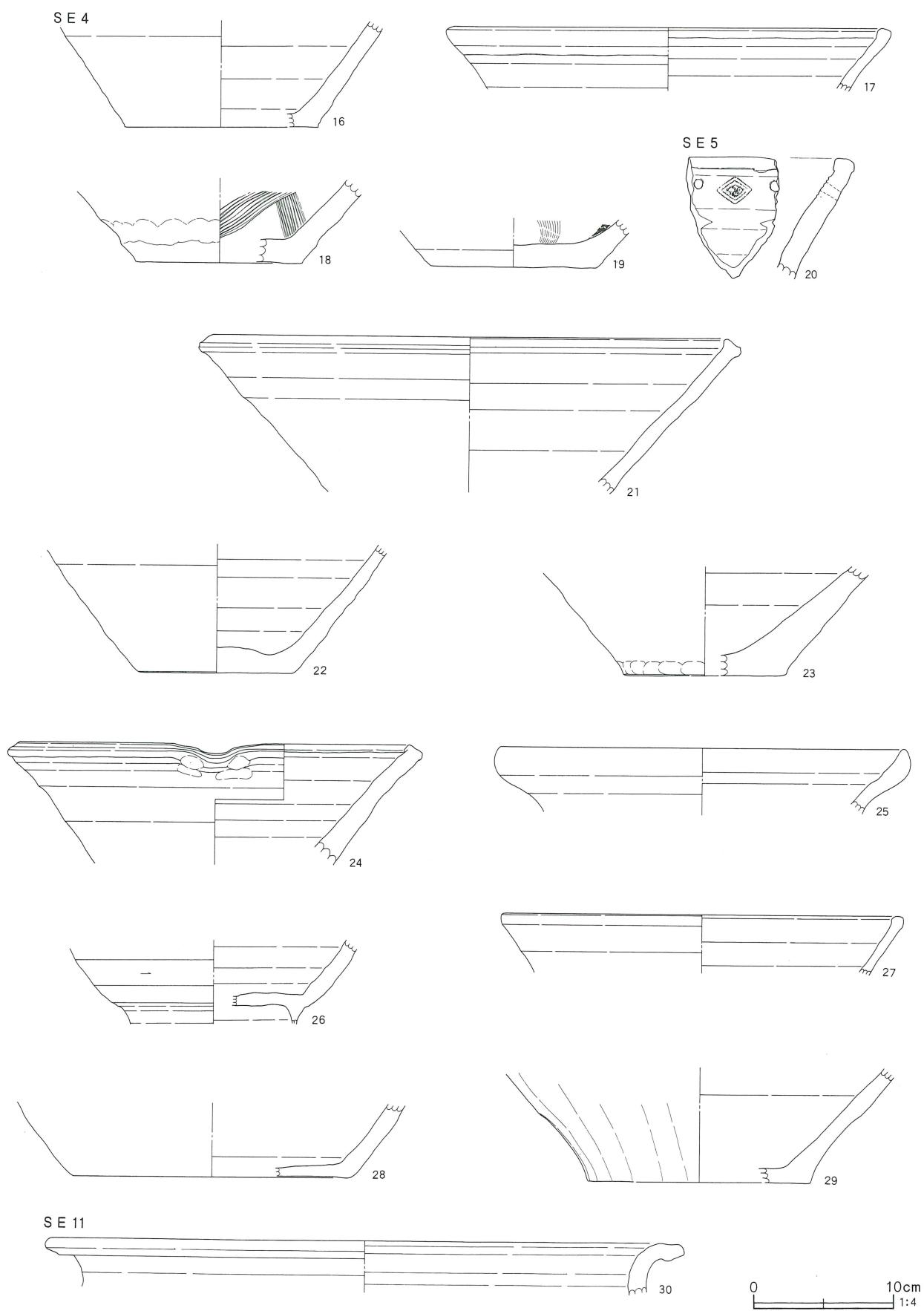
1	暗褐色	シルト質細砂	焼土小ブロック少、炭化物微 小礫多
2	褐色	細砂質シルト	ローム小ブロック・小礫多 焼土小ブロック微、浅間B少
3	暗褐色	細砂質シルト	ローム小ブロック多 小礫・浅間B少
4	暗褐色	細砂質シルト	ローム小ブロック・小礫少
5	暗褐色	細砂質シルト	ローム小ブロック多 焼土小ブロック微



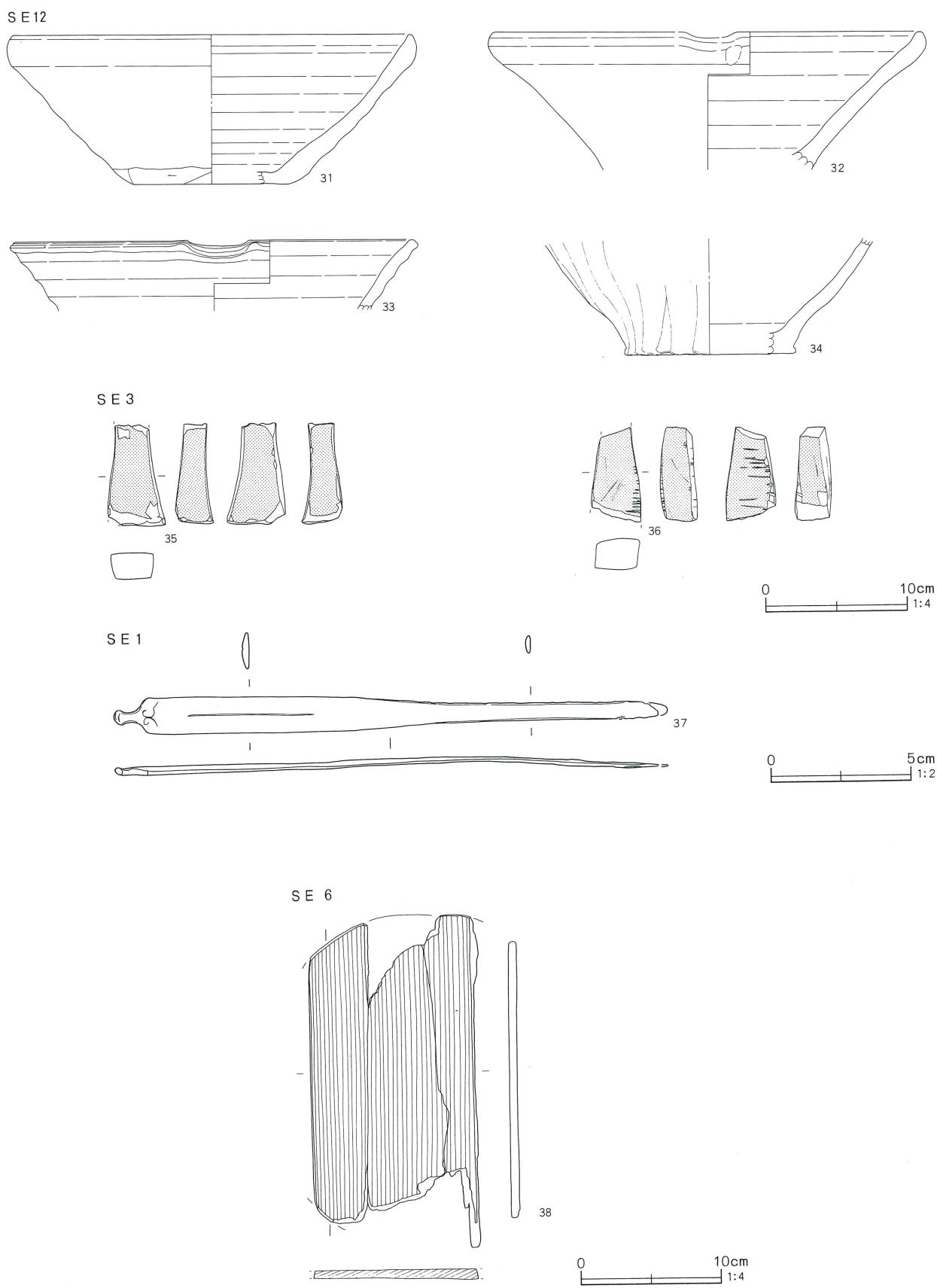
第177図 塔頭遺跡井戸跡出土遺物(1)



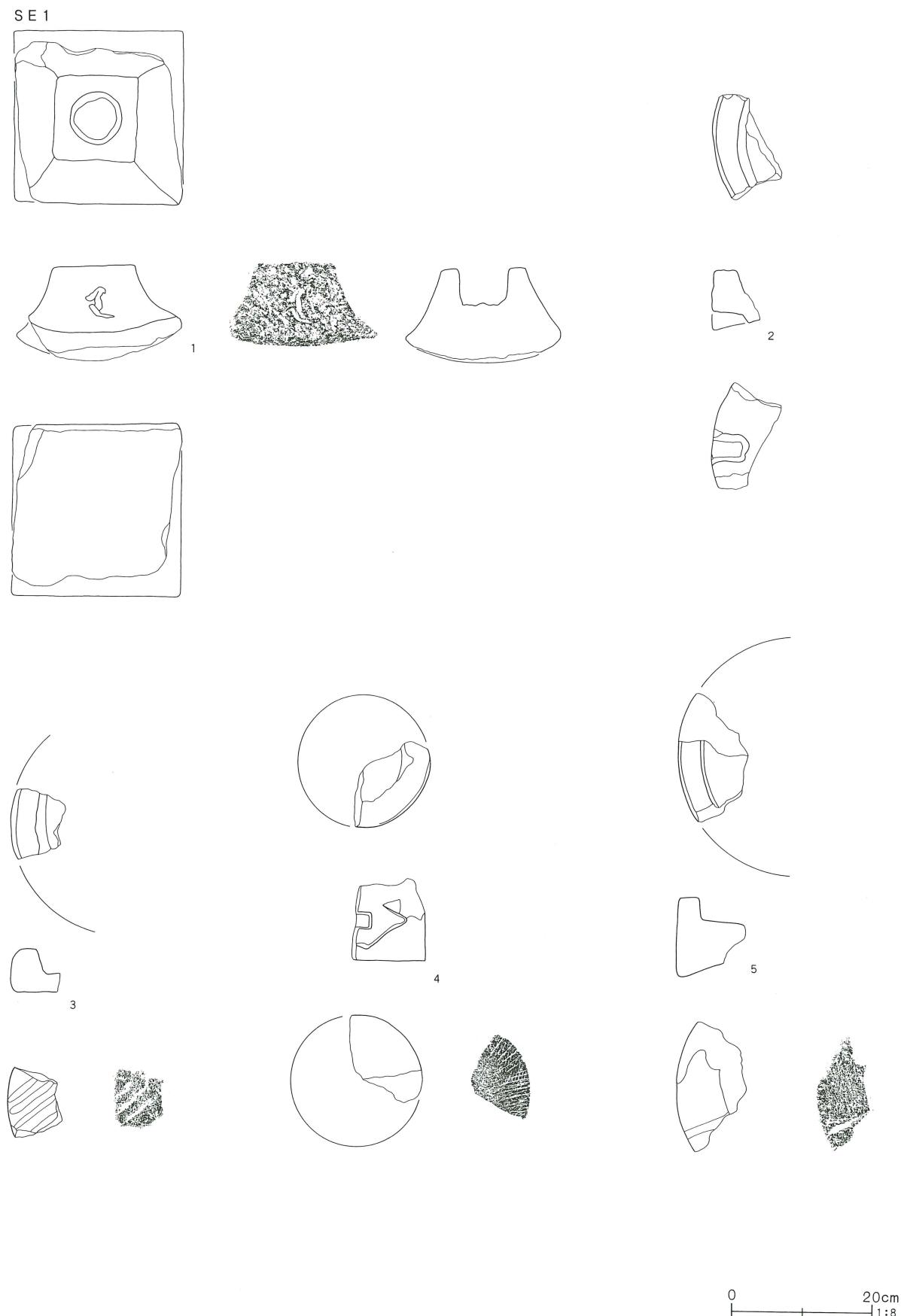
第178図 塔頭遺跡井戸跡出土遺物 (2)



第179図 塔頭遺跡井戸跡出土遺物 (3)



第180図 塔頭遺跡井戸跡出土石塔・石臼(1)

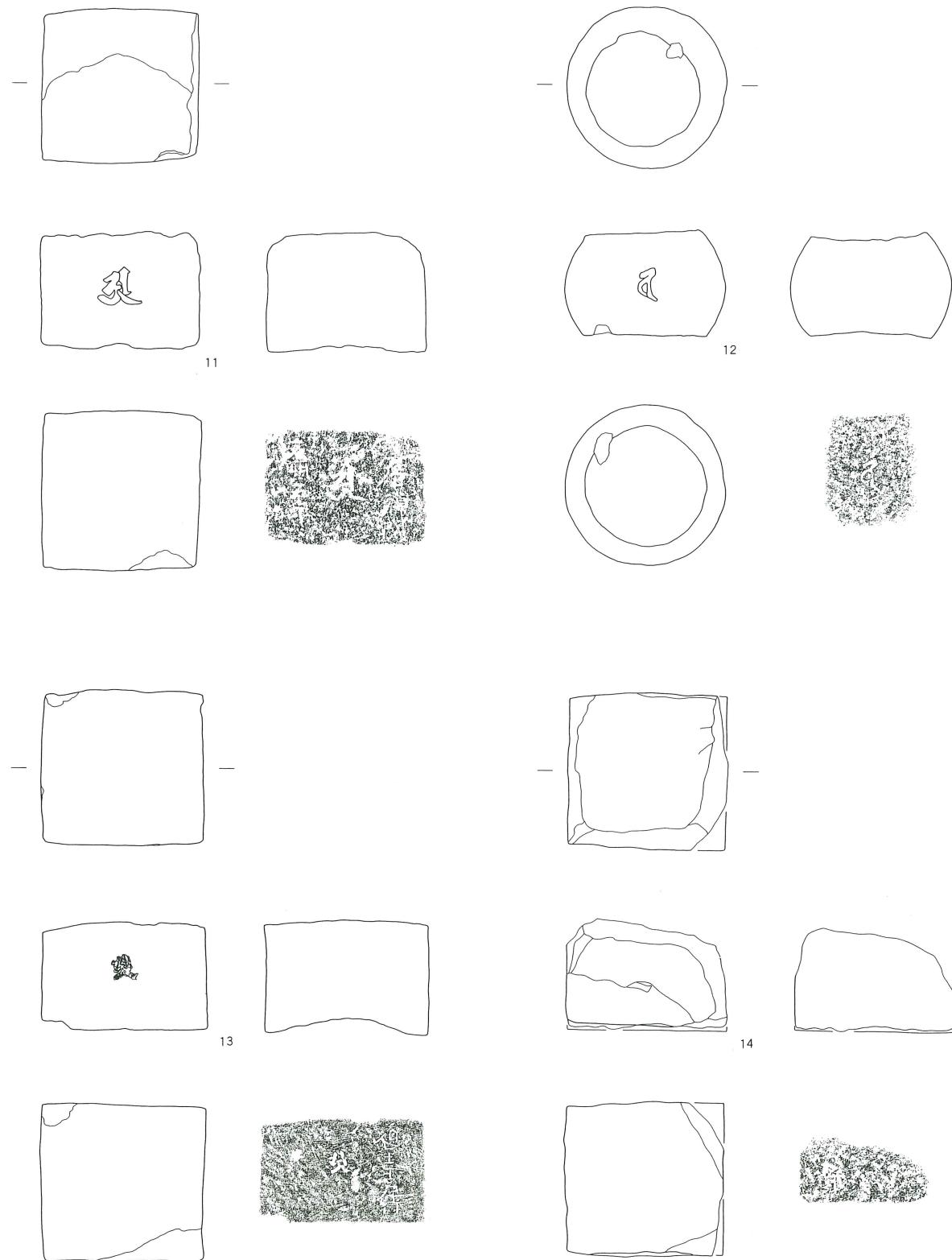


第181図 塔頭遺跡井戸跡出土石塔・石臼(2)



第182図 塔頭遺跡井戸跡出土石塔・石臼(3)

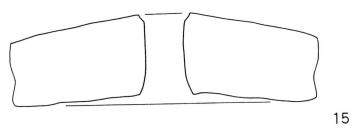
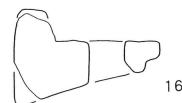
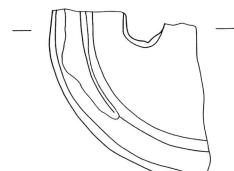
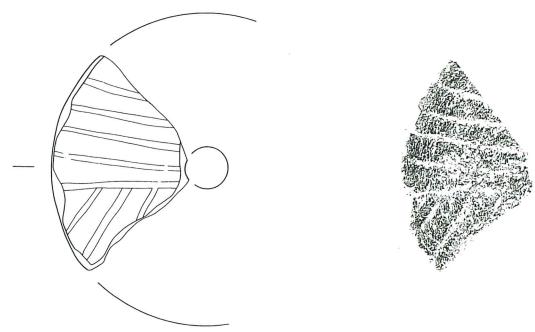
S E 3



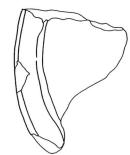
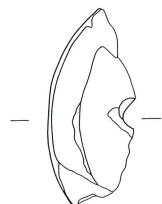
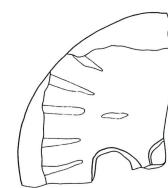
0 20cm 1:8

第183図 塔頭遺跡井戸跡出土石塔・石臼(4)

SE 3



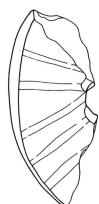
15



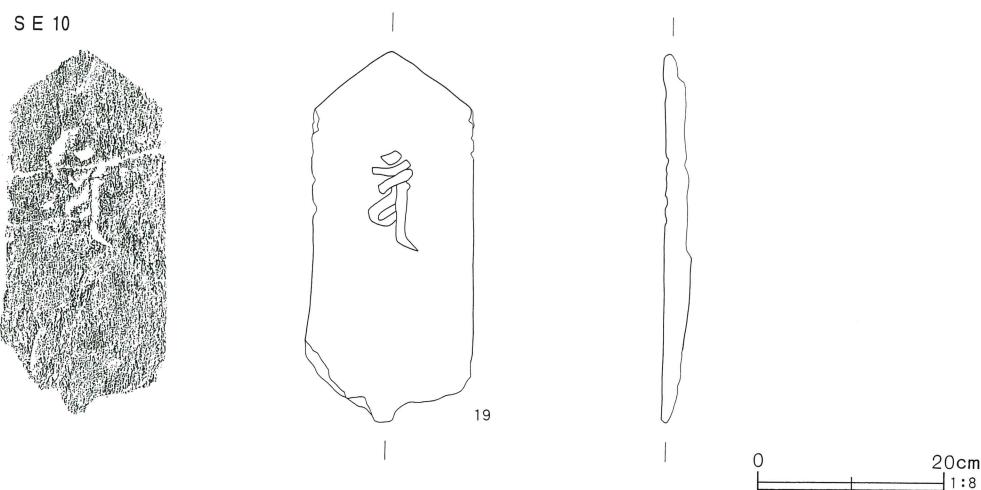
17



18



第184図 塔頭遺跡井戸跡出土石塔・石臼(5)



塔頭遺跡井戸跡出土石塔・石臼 (第180~184図)

1から5は第1号井戸跡出土である。

1は、五輪塔の火輪部である。正面中央に梵字が刻まれている。端部の多くは欠損しているが全体を窺うことは可能である。石材は安山岩である。2は、石臼の上臼である。全体の1割以下の残存で、その上挽き手孔から横に割れている。下面是火を受けた痕跡が見られる。石材は砂岩である。3は、上臼である。小片だが、磨耗した臼の目が残る。砂岩製である。4は、茶臼の上臼である。挽き木の打込み孔付近で縦に割れている。打込み孔の周辺には菱形の模様が見られる。臼の目は周縁にまで達している。砂岩製である。5は、石臼の上臼である。摩滅が激しいが僅かに臼の目が確認できる。砂岩製である。

6から18は第3号井戸跡出土である。

6から9は宝篋印塔である。石材は何れも安山岩である。3は笠部で、一部隅飾突起が欠損している。7は基礎部で、僅かに角を欠損しているが、比較的良好に残存している。8と9は笠部の隅飾突起である。石材、大きさから同一個体の可能性も考えられる。

10から14は五輪塔である。石材は13が砂岩である以外は何れも安山岩である。10は空風輪で、一石で作られている。宝珠の先端部から裏面にかけて欠損している。空輪、風輪共に正面に梵字が刻まれているが、

風化が激しい。12は火輪である。正面中央に梵字を刻み、ほぼ原形を保っているが、風化が激しい。11・13・14は地輪である。11は正面中央に梵字が刻まれている。また、梵字の両脇には銘が刻まれている。銘は、右側が「□□禪門」、左側が「文明五年」と読める。文明5年は1473年にあたる。13は、出土した五輪塔の中で唯一石材が違うものである。角付近を僅かに欠損しているが、原形を良く保っている。正面中央に小振の梵字が刻まれている。梵字の刻みに沿うように黒漆かと思われるものが認められ、刻みの最深部には僅かではあるが金が残存している。また、梵字の右側には銘が刻まれ、「□□□禪門」と読める。1文字目は、「道」の可能性がある。しかし、禪門の前が三文字となるのは不自然であるため、2文字目と3文字目は一文字の漢字を部首で分けたか、崩して刻んだ可能性も考えられる。14は上半部表面の多くが欠損し、風化も著しい。正面中央に梵字が刻まれているが、ごく一部を残すのみである。

15から18は石臼である。石材は15が安山岩、他は砂岩である。15は、出土した石臼の中で数少ない下臼である。全体の2割程度しか残存していないが、外縁から芯棒孔まで見られ、全体の様相は把握できる。臼の目はやや摩滅しているが、主溝・副溝共に確認される。16は上臼である。やや薄手で供給口で割れて

いる。下面にものくばりが見られないことから、左回しの臼と考えられる。また、芯棒受けの一部が確認できる。臼の目は摩滅が激しく、一部に確認されるだけである。17は上臼だが、全体の1割程度しか残っておらず、全体を把握することは困難である。臼の目は摩滅が激しいが、確認はできる。18は薄手の上臼で、

臼の目は摩滅して確認できない。

19は第10号井戸跡出土の板碑である。下半部は欠損し、表面の風化が激しい。明瞭ではないが、種子は金剛界大日如来である。二条線は縁部にのみ認められる。

塔頭遺跡井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	擂鉢		8.8	(12.0)	ABFG	A	灰黄	5	SE1	回転糸切り
2	瓦質擂鉢		8.1	(11.0)	AB'C	B	灰黄褐	5	SE1	回転糸切り
3	擂鉢		5.5	(12.0)	ACF	B	にぶい橙	5	SE1	回転糸切り 外面指頭痕
4	白磁皿	(9.9)	1.8		A	A	灰白	5	SE3	15世紀
5	瓦質擂鉢		6.7	(11.0)	AB'C	B	にぶい黄	10	SE3	底部回転糸切り
6	瓦質鉢	(29.1)	9.7		A	B	灰	10	SE3	内面擦り減る
7	瓦質鉢	(31.6)	5.9		A	A	黄灰		SE3	15世紀前半
8	瓦質片口鉢	(27.6)	7.0		AB	B	黄灰	5	SE3	14~15世紀前半
9	瓦質片口鉢	(28.0)	7.9		AC	B	褐灰	5	SE3	
10	内耳鍋	(32.4)	10.5		ACF	B	灰黄褐	10	SE3	
11	瓦質内耳鍋	(29.4)	10.5		ABB'	B	灰	5	SE3	外面煤付着 指頭痕
12	瓦質内耳鍋	(29.2)	7.9		AB'G	A	灰		SE3	15世紀後半
13	瓦質内耳鍋	(25.8)	6.5		ABF	A	にぶい黄橙	5	SE3	外面に油煙状のもの付着
14	瓦質内耳鍋	(29.7)	4.4		AG	B	黄灰		SE3	15世紀後半
15	内耳鍋		6.7	(21.8)	AB'G	A	暗灰黄	5	SE3	
16	須恵質片口鉢		7.6	(13.9)	A	A	灰	5	SE4	13世紀 内面擦り減る 回転糸切り後ヘラケズリ
17	瓦質片口鉢	(30.6)	4.5		AB'CFG	B	にぶい黄褐		SE4	
18	瓦質擂鉢		6.0	(11.9)	AB'FG	B	黄灰	5	SE4	
19	擂鉢		3.5	(11.9)	AB'F	A	灰黄	5	SE4	回転糸切り 内面擦り減る
20	瓦質火鉢		8.7		AB	B	黄灰		SE5	口縁部破片 穿孔
21	瓦質鉢	(37.0)	11.1		AB'F	B	黄灰	5	SE5	14世紀 外面指頭痕 内面擦り減る
22	瓦質鉢		9.2	(11.2)	AB'G	B	灰白	5	SE5	底部ヘラケズリ 内面擦り減る 外面指頭痕
23	須恵質鉢		7.8	(11.7)	AB	A	灰	10	SE5	回転糸切り 内面擦り減る
24	瓦質片口鉢	(28.0)	8.6		ABC	C	褐灰	30	SE5	14世紀 外面剥離
25	瓦質片口鉢	(29.0)	4.6		AB	A	黄灰		SE5	13世紀後半 内面擦り減る
26	山茶碗系片口鉢		6.0		ABG	A	灰黄	5	SE5	13世紀中頃 底部内面擦り減る
27	瓦質擂鉢	(28.2)	4.2		ABG	B	にぶい黄		SE5	口縁部破片
28	瓦質内耳鍋		5.3	(20.0)	AFG	B	灰黄褐	5	SE5	15世紀
29	常滑甕		8.2	(20.0)	A	A	にぶい赤褐	5	SE5	13世紀 内面擦り減る 自然釉付着
30	渥美甕	(45.0)	3.7		A	A	灰		SE11	12世紀後半 外面施釉ハケぬり
31	瓦質片口鉢	(28.2)	10.5	(11.2)	AB'G	B	灰	20	SE12	底部回転糸切り 指頭痕
32	瓦質片口鉢	(29.8)	9.7		AB'C	B	にぶい褐	10	SE12	13~14世紀前半 外面剥離
33	山茶碗系片口鉢	(28.1)	4.9		ABF	A	灰		SE12	13世紀前半 口縁部自然釉付着
34	常滑甕		8.1	(12.1)	AF	A	灰白	5	SE12	13世紀 自然釉付着
35	砥石	長さ7.1cm、幅3.0cm、厚さ1.9cm、重さ90.83g								SE3 凝灰岩
36	砥石	長さ6.6cm、幅3.0cm、厚さ2.2cm、重さ79.52g								SE3 凝灰岩 刀傷あり
37	髪搔	現長19.3cm、握り幅1.3cm、厚さ0.3~0.1cm、棹幅0.6cm、重さ18.38g								SE1 銅製 眉形・蕨手形のみ
38	木製品									SE6

## VII 溝跡と出土遺物

地神・塔頭遺跡の溝跡の調査は、今井条里遺跡における調査と並行して実施された。しかし、溝跡の遺構番号は今井条里遺跡とは区別して付した。また、溝跡の総数は120条を数え、地神・塔頭遺跡にまたがる溝跡も多く見られたため、遺構番号は両遺跡を通し番号とした。

120条の溝跡の内、両遺跡の南側に広がる今井条里遺跡の溝跡との関連が考えられる溝跡が多く見られる。これらの溝跡の詳細は今井条里遺跡の報告に譲るとして、いくつかの溝跡については条里遺跡の成果を基に

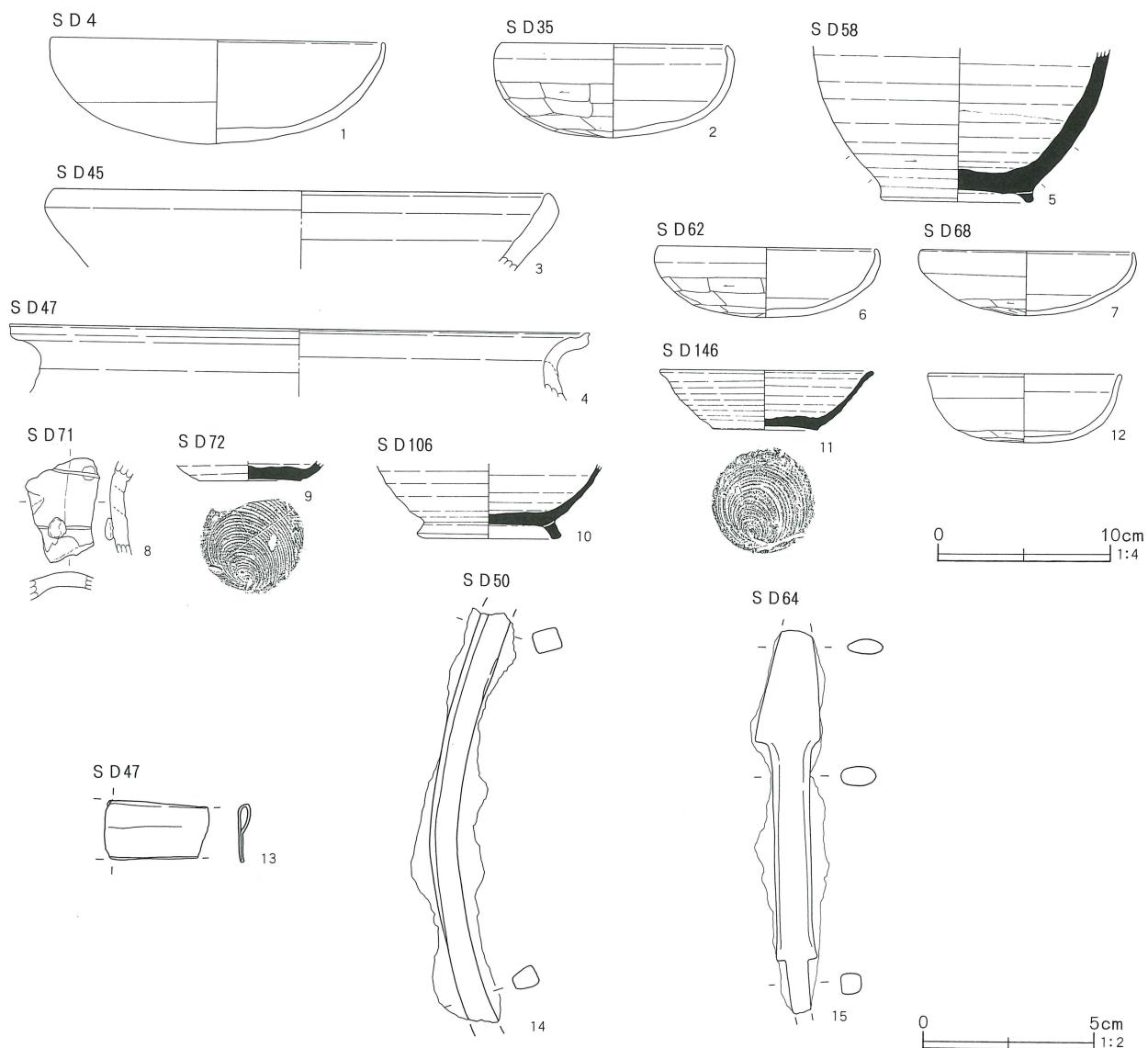
概観しておく。

地神・塔頭遺跡において年代が確認できるものの中で最も古いと考えられるのが、7世紀中ごろから8世紀初めの第62号溝跡である。

次いで、8世紀代には、走行方位から第2・8・11・67・94・118・120号溝跡が考えられ、特に第118・120号溝跡は今井条里遺跡の同時代の溝跡と覆土が類似している。

8世紀から9世紀の溝跡としては、第7・18・19・64号溝跡が上げられる。9世紀では前半に、第

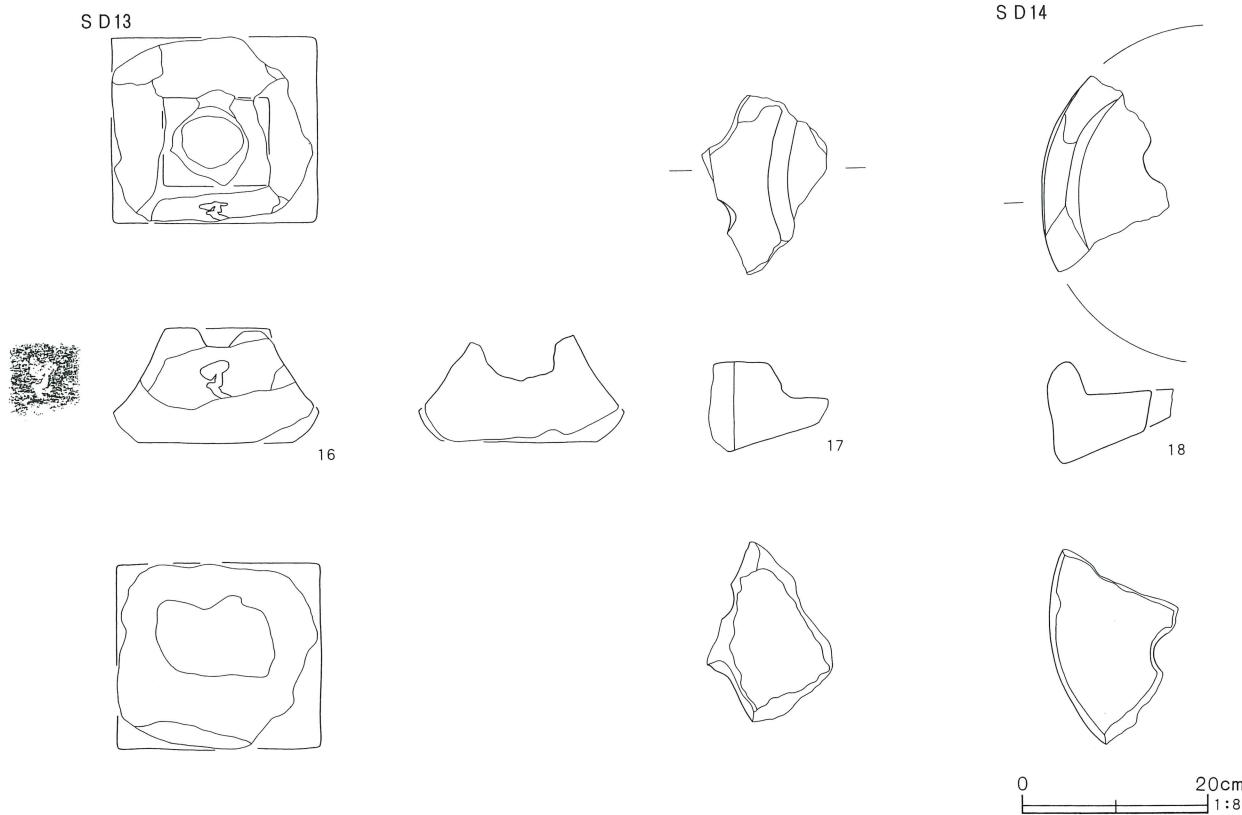
第185図 塔頭遺跡溝跡出土遺物



4・25・106号溝跡が、前半から中頃では第68号溝跡が考えられ、9世紀代として第35・36号溝跡が上げられる。

9世紀から10世紀には第96・106号溝跡が考えられ

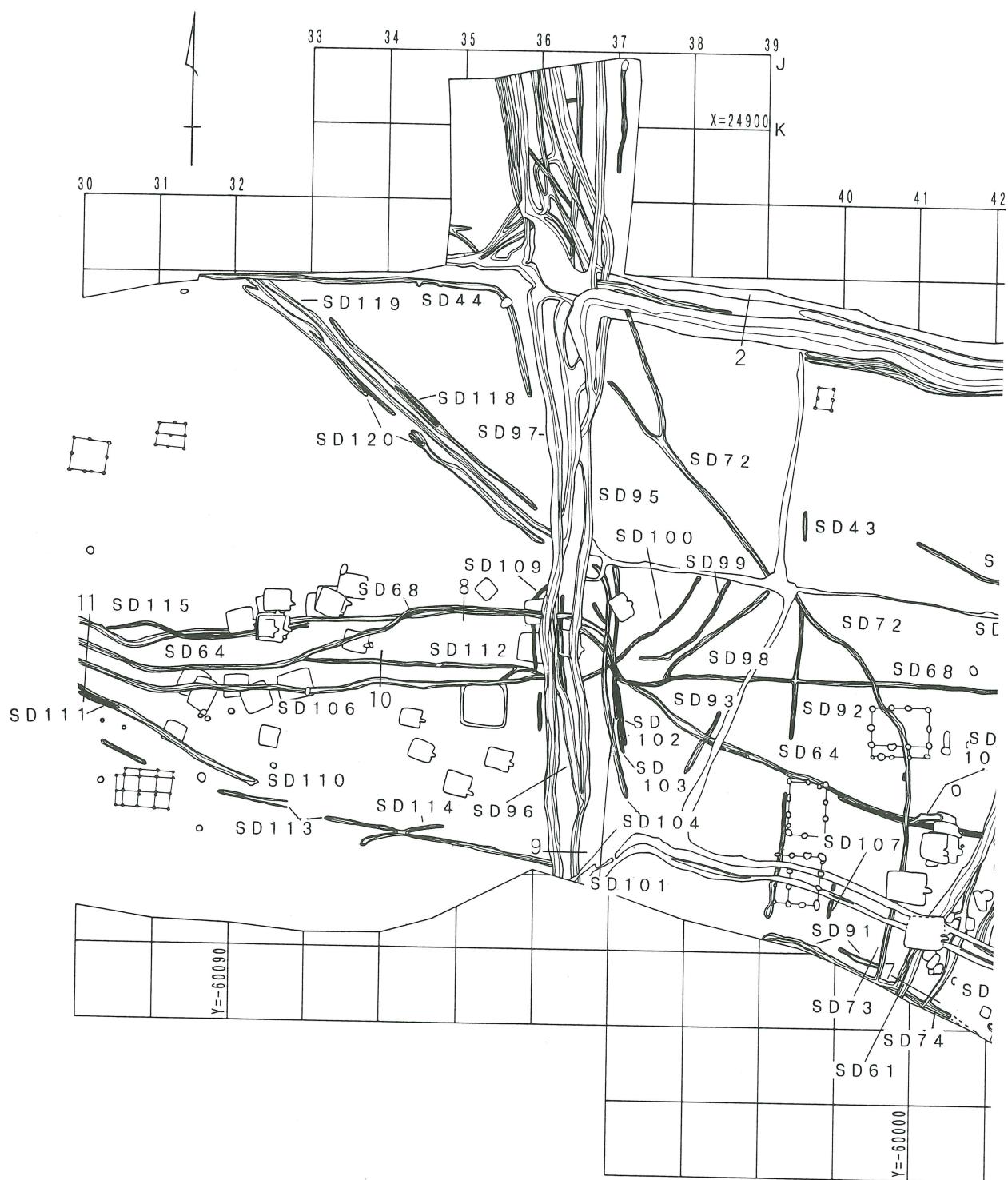
第186図 塔頭遺跡溝跡出土石塔・石臼

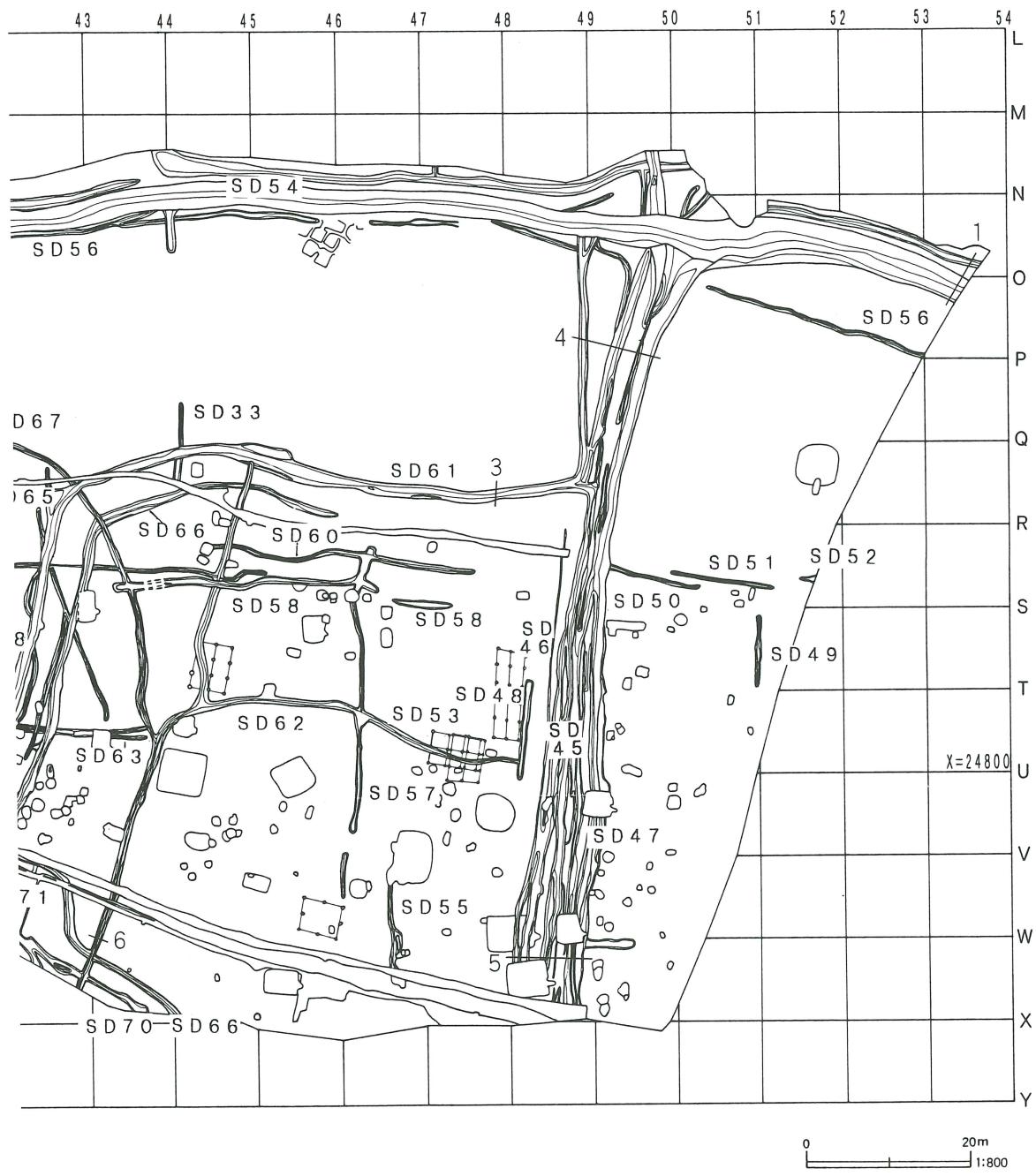


塔頭遺跡溝跡出土遺物観察表

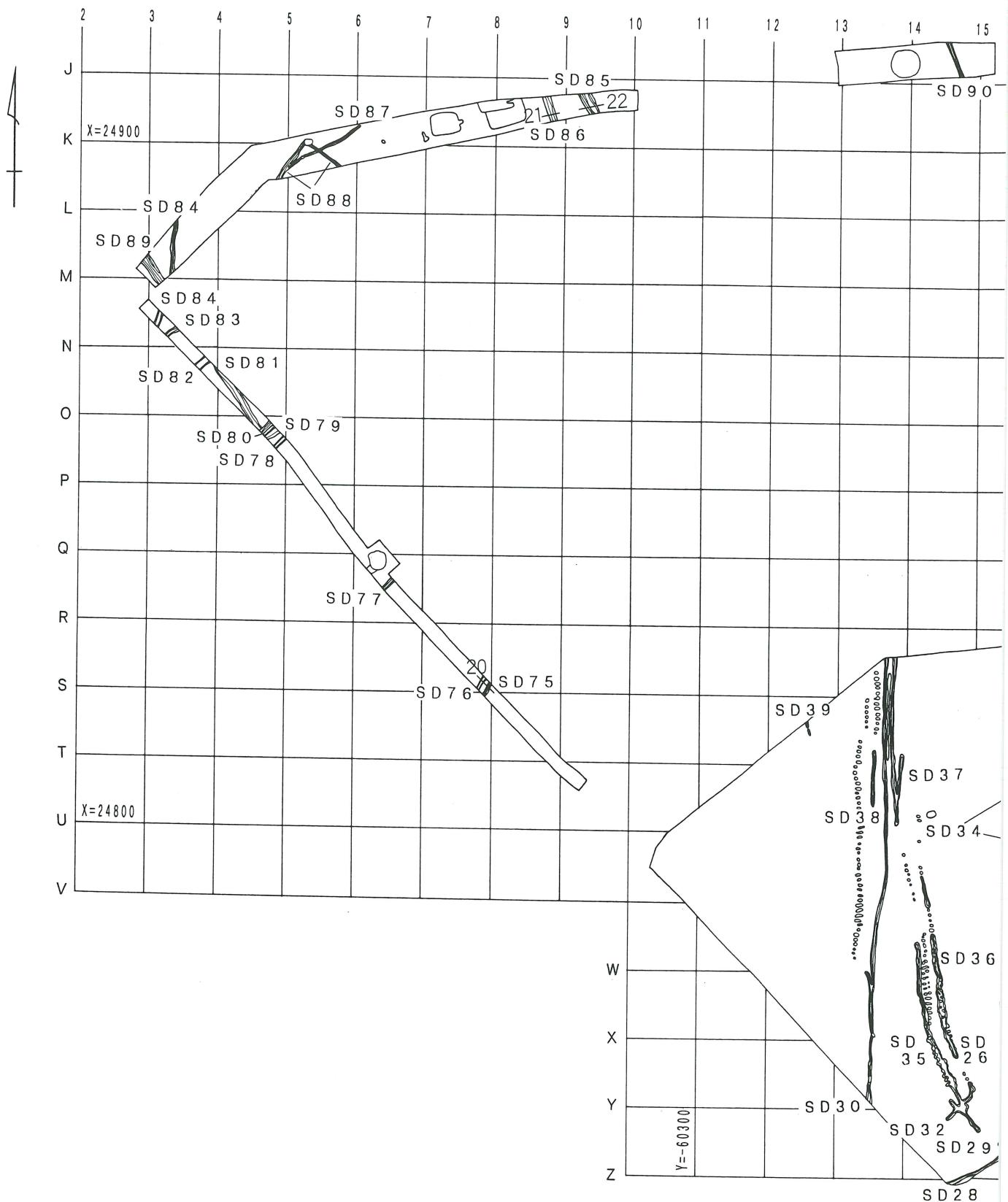
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考	
1	壺	19.2	6.0	16.4	AB'FG	B	橙	60	SD4		
2	壺	13.1	5.4	13.6	AB'CF	A	明赤褐	95	SD35		
3	瓦質片口鉢	(28.8)	4.5		AB'G	A	灰白		SD45		
4	甕	(33.6)	3.9		A	A	黄灰		SD47		
5	長頸瓶		8.9	8.9	AD	A	灰	30	SD58		
6	壺	12.6	4.0	12.1	AB'CG	B	橙	100	SD62		
7	壺	12.2	3.7	12.0	AB'CFG	B	橙	70	SD68		
8	形象埴輪				B'CG	B	明赤褐		SD71	人物埴輪の衝角付冑や短甲の鋲留表現に類似	
9	壺		1.2	5.9	ABB'DG	A	灰	20	SD72	南比企産 底部にヘラ書き十か×	
10	高台付椀			4.3	8.3	ABB'FG	A	灰	30	SD106	末野産
11	壺	12.8	4.1	6.6	ACF	A	灰黄褐	95	SD146	末野産	
12	壺	11.1	4.0	7.5	AB'G	A	褐	75	SD146		
13	煙管の吸口	現長3.1cm、幅最大1.7cm、厚さ0.1cm、重さ2.34g		SD47	銅製	つぶれる	両側欠				
14	角棒状鉄製品	現長11.8cm、断面幅0.8×0.6cm、重さ42.01g		SD50	両側欠	鑄方が怪しい	現代?				
15	鉄鎌	現長11.1cm、鎌身部幅最大1.9cm、頭部幅0.6×1.1cm、重さ32.37g		SD64	両刃造?	長頸甕	鎌身部茎部欠				
16	五輪塔	SD13	風輪	安山岩							
17	石臼	SD13	砂岩								
18	石臼	SD14	砂岩								

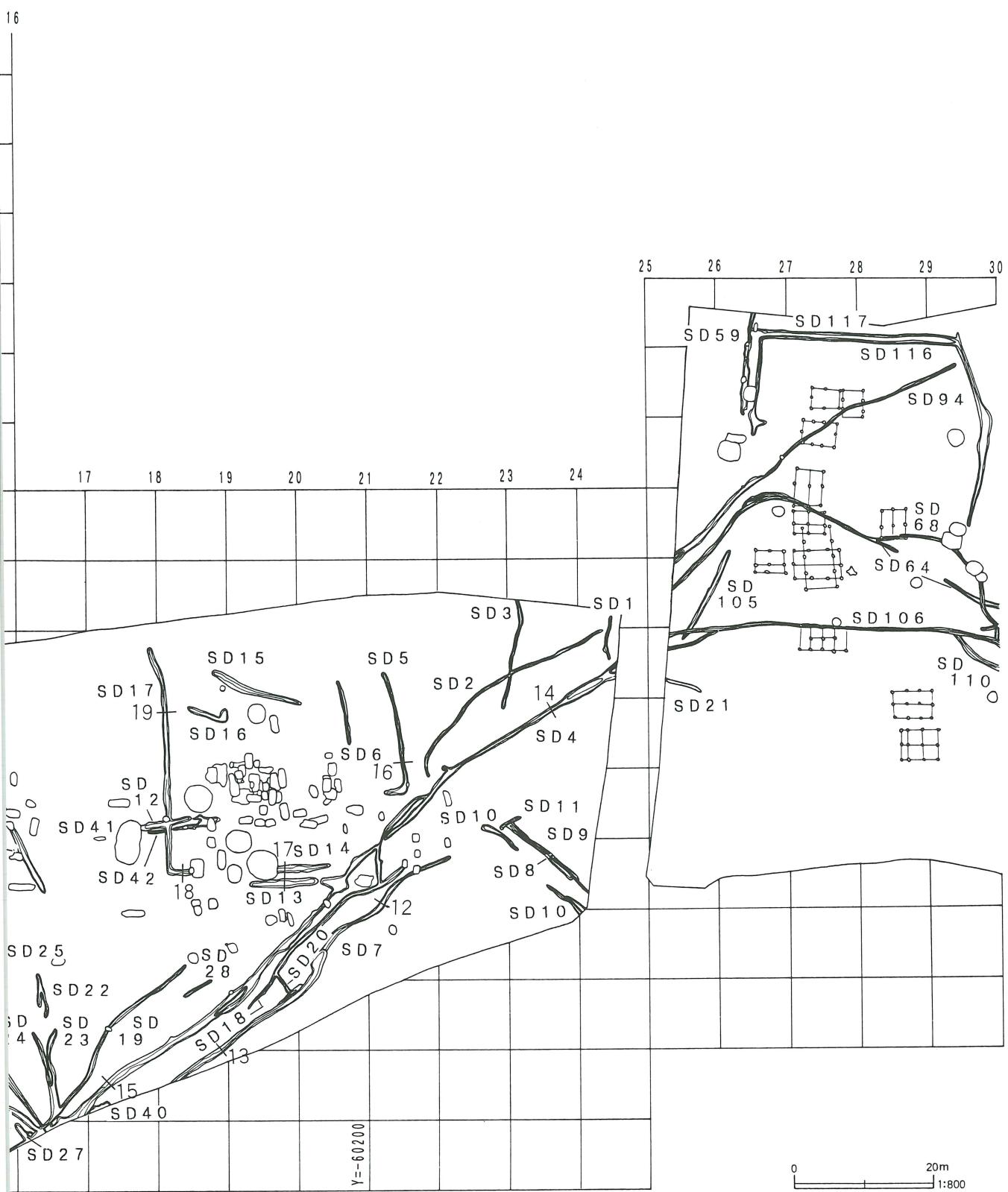
第187図 溝跡配置図(1)



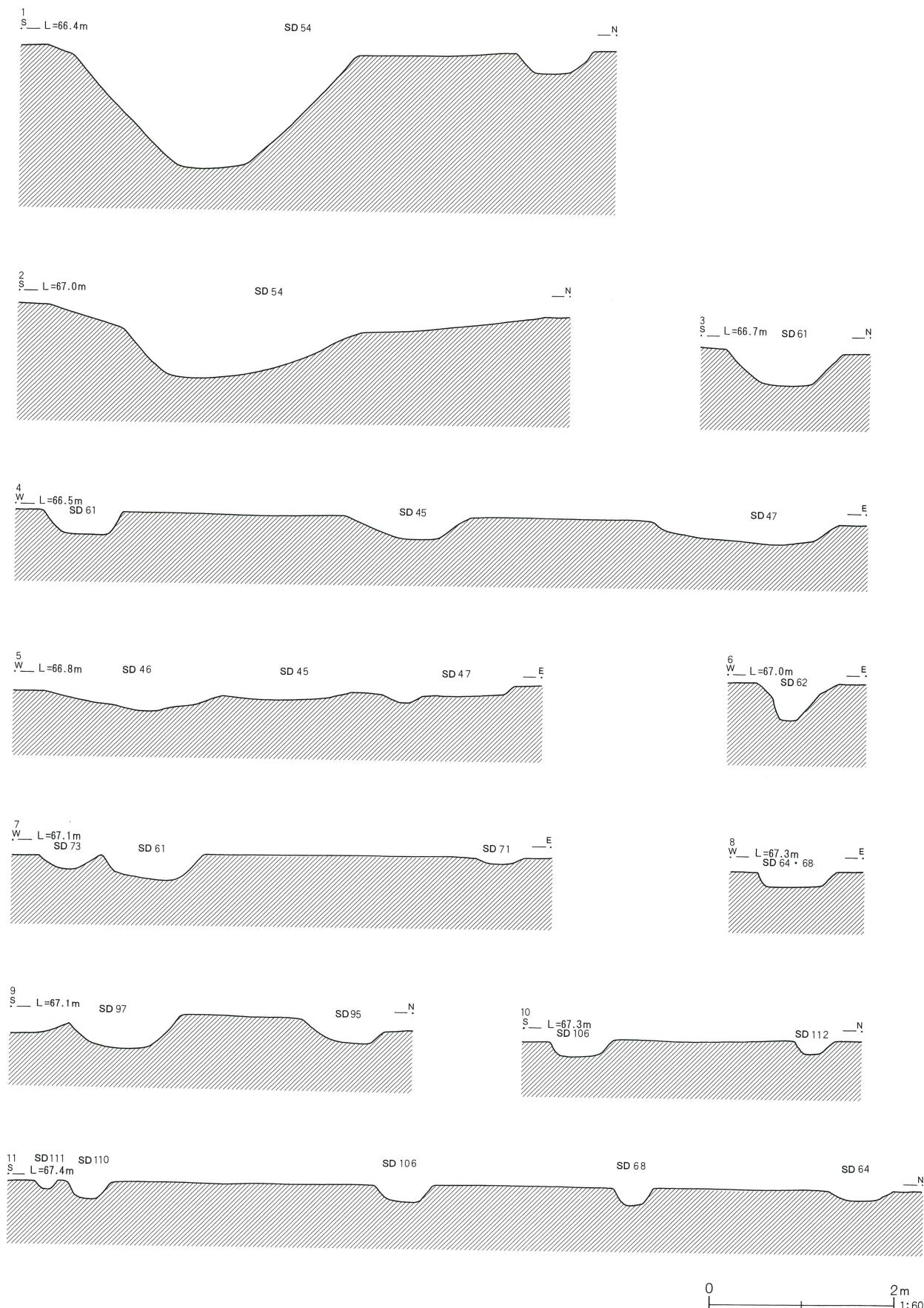


第188図 溝跡配置図(2)





第189図 溝跡(1)



のものとして第42号溝跡が考えられる。

以上、条里に關係すると考えられる溝跡を年代別に列挙したが、地神・塔頭遺跡で条里とは關係ない溝跡も検出されており、以下、それらを記載する。

#### 第5・6・12・13・14・17号溝跡（第188図）

この5条の溝跡は、塔頭遺跡のほぼ中心に位置し、溝跡に囲まれた地域には中世土壙墓が集中する。

第17号溝跡は、北端がR-17グリッドで検出され、南走してU-18グリッド内で東に向かって直角に屈曲する。延長線上に第14号溝跡が検出され、その南側に、第13号溝跡が並行して走る。

第12号溝跡は、T-18グリッド内で第17号溝跡と直交し、直ぐに途切れるが延長線上に第5号溝跡が検出されている。第5号溝跡は、T-21グリッド内で直角に屈曲して北走する。第6号溝跡は第5号溝跡と並行して検出されている。

これらの溝跡からは、量の差はあるものの内耳鍋、すり鉢、こね鉢、五輪塔、石臼等が出土している。特に第13号溝跡の中央付近では、集石状の石に混じって五輪塔の火輪部と上臼が出土した。

また、前述のようにこれらの溝跡に囲まれた地域は中世の土壙墓が特に集中しており、一時期において墓域を規制する機能を有していたとも考えられる。

#### 第54号溝跡（第187図）

地神遺跡調査区の北端を東西に走る。M-36グリッド内で数条の溝跡と合流するが、合流後は曖昧となり、流れを擋むことが出来なかった。上幅は2.8~3.7m、底幅は0.5~1.0m、深さは0.44~1.35mで、東に向かって低くなっている。底面の標高は、64.93~66.06mで同様に東側が低い。覆土には水が流れた形跡が観察された。遺物は須恵器と土師器の小片が出土しただけである。

また、N-45グリッドでは本溝跡の南側で水田状の区画が検出された。一辺が1.5~1.8mの小区画が5区画検出され、明瞭にとらえることは出来なかったが、東側に広がる可能性が見られた。遺物が出土しなかったため時期を明確にすることはできないが、今井条里遺跡との関係から古墳時代前期の可能性が考えられる。

第190図 溝跡(2)

